

令和6年度韮崎市内発掘調査報告書

宿尻遺跡(穴山町字宿尻4462-5 ほか地点)
榎田遺跡(藤井町北下條字榎田80-1地点)

2025年3月

韮崎市教育委員会

令和6年度韮崎市内発掘調査報告書

宿尻遺跡(穴山町字宿尻4462-5 ほか地点)
榎田遺跡(藤井町北下條字榎田80-1地点)

2025年3月

韮崎市教育委員会

序 文

韭崎市は、山梨県の北西部に位置し、三角形をした甲府盆地のひとつの頂点にあたります。西には鳳凰三山、東には茅ヶ岳、北にはハヶ岳、そして南には御坂山地が広がります。

市内は塩川と釜無川という大きな河川が貫流し、両河川に挟まれて七里岩台地が甲府盆地に向かって楔形にのびています。また本市南端には御勅使川が流れています。

また韭崎市は武田発祥の地であり、武田氏ゆかりの史跡が数多く残っております。武田氏最後の城である史跡新府城跡、甲斐武田家の祖武田信義が元服したと伝えられる武田八幡神社本殿、願成寺の重要文化財の木造阿弥陀如来坐像、信義の要害と伝えられる史跡白山城跡や信玄の治水思想を伝えるとされる史跡御勅使川旧堤防（将棋頭）など、挙げ始めれば枚挙に暇のないほどであります。

このような史跡もなることながら、他の時代に生きた先人たちの足跡が市内には数多く残っております。本書には縄文時代を中心として遺構・遺物が確認された宿尻遺跡、榎田遺跡で実施した発掘調査について掲載いたしました。

本書に報告した地点は、新規に建物などを建築するためあくまでも工事による掘削を回避できない部分において記録保存を目的として調査を実施したものであります。一方で今回発見された遺構や遺物は、遠い昔の人々が残した資料という意味のみではなく、今この地に生きる私たちとこの地に生きた先人たちとを繋ぐ重要な資料として、永く後世に伝えていかなければなりません。本報告書が今を生きる私たちが未来にこの地で生きる人々と古代から中世・近世を経て近現代に生きた先人たちとを繋げていくための史料となればと願っております。

最後に、現地での発掘調査ならびに本書刊行にともない、多大なる御理解と御協力を頂いた多くの方々にご場を借りて深く感謝申し上げます。

令和7年3月31日

韭崎市教育委員会

教育長 堀川 薫

例 言

1. 本書は、本市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等に併い実施した発掘調査報告書です。掲載した遺跡は宿尻遺跡（穴山町字宿尻 4462-5 ほか地点）と榎田遺跡（藤井町北下條字榎田 80-1 地点）の2遺跡です。
2. 屋外における試掘・確認調査及び本調査、出土品等の整理作業と本書の刊行作業は、本市教育委員会が実施しました。
3. 本書における発掘調査及び整理作業、編集・執筆は、本市教育委員会の岡間俊明・半澤直史が担当しました。
4. 本書に関わる図面・写真などの記録類は、本市教育委員会において保管しています。
5. 発掘調査業務の内、基準点測量業務・空中写真撮影及びオルソ画像作成業務・平面図化作業を、(株)テクノプランニング及び株式会社シン技術コンサルに委託をして行いました。
6. 凡例

①本書報告の各遺跡については、第1章と第2章の各章で遺跡毎に報告することとしました。また第1章宿尻遺跡の1部の遺構遺物出土状況については、紙面の都合上今後追加報告を行う予定です。

②遺構図及び遺物図の縮尺は挿図ごとに示しました。

7. 調査組織
調査主体
本市教育委員会
調査担当
岡間俊明・半澤直史（本市教育委員会）
本市教育委員会
教育長 堀川薫、課長 佐藤道平、
文化財担当 岡間俊明、渋谷賢太郎、
半澤直史
8. 調査を進めるにあたり、次の方々から協力を得ました。

調査関係者（順不同、敬称略）

（原義仁、小幡敬一、中村哲夫、土屋二郎、
三浦光栄、角田勇雄、野口正文、三枝隆男、
水垂修、保坂梯司、大村保美、清水裕子、
村松暢子、石原ひろみ、土屋啓子、
深沢真知子、金丸裕子、阿部由美子、
窪田千恵、河西久美、伊藤えりか）

最後に、発掘調査・整理作業・報告書刊行に尽力をいただきましたの方々、調査にご理解を下さいました地元住民の方々、事業の関係者各位に御礼申し上げます。

目 次

序 文

例 言

凡 例

第1章 宿尻遺跡 …… 1

- 第1節 調査に至る経緯
- 第2節 遺跡の地理的・歴史的環境
- 第3節 遺構と遺物
- 第4節 まとめ

第2章 榎田遺跡 …… 42

- 第1節 調査に至る経緯
- 第2節 遺跡の地理的・歴史的環境
- 第3節 遺構と遺物
- 第4節 まとめ

挿図目次

第1章 宿尻遺跡 …… 10

- 第1図 宿尻遺跡位置図 (S=1/50,000)
- 第2図 宿尻遺跡調査区位置図 (S=1/5,000)
- 第3図 調査区全体図 (S=1/100)
- 第4図 調査区北壁土層断面図 (S=1/40)
- 第5図 1号溝断面図 (S=1/20)
- 第6図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第7図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第8図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第9図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第10図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第11図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第12図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第13図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第14図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第15図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第16図 土坑、ピット平・断面図 (S=1/20)
- 第17図 遺構内出土遺物(1) (S=1/2), (S=1/4)

第 18 図	遺構内出土遺物 (2)	(S=1/2), (S=1/4)
第 19 図	遺構内出土遺物 (3)	(S=1/4)
第 20 図	B11B1-1 転回図	(S=1/4)
第 21 図	遺構内出土遺物 (4)	(S=1/4)
第 22 図	遺構内出土遺物 (5)	(S=1/2) (S=1/4)
第 23 図	遺構内出土遺物 (6)	(S=1/2), (S=1/4)
第 24 図	遺構内出土遺物 (7)	(S=1/2), (S=1/4)
第 25 図	遺構内出土遺物 (8)	(S=1/2), (S=1/4)
第 26 図	遺構内出土遺物 (9)	(S=1/2), (S=1/4)
第 27 図	遺構外出土遺物 (1)	(S=1/2), (S=1/4)
第 28 図	遺構外出土遺物 (2)	(S=1/2), (S=1/4)
第 29 図	遺構外出土遺物 (3)	(S=1/2), (S=1/4)
第 30 図	遺構外出土遺物 (4)	(S=1/2), (S=1/4)
第 31 図	遺構外出土遺物 (5)	(S=1/2)
第 32 図	遺構外出土遺物 (6)	(S=1/2)
第 33 図	遺構外出土遺物 (7)	(S=1/2)
第 34 図	遺構外出土遺物 (8)	(S=1/2)

第 16 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 17 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 18 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 19 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 20 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 21 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 22 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 23 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)

表目次

第 1 表	宿尻遺跡出土遺物観察表	・・・ 4
第 2 表	宿尻遺跡土層説明	・・・ 6
第 3 表	榎田遺跡出土遺物観察表	・・・ 4 5
第 4 表	榎田遺跡土層説明	・・・ 4 7

写真図版

第 2 章 榎田遺跡 ・・・ 4 8

第 1 図	榎田遺跡位置図	(S=1/50,000)
第 2 図	榎田遺跡位置図	(S=1/5,000)
第 3 図	調査区全体図①	(S=1/20)
第 4 図	調査区全体図②	(S=1/20)
第 5 図	調査区全体図③	(S=1/20)
第 6 図	調査区全体図④	(S=1/20)
第 7 図	調査区全体図⑤	(S=1/20)
第 8 図	調査区全体図⑥	(S=1/20)
第 9 図	調査区全体図⑦	(S=1/20)
第 10 図	調査区全体図⑧	(S=1/20)
第 11 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 12 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 13 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 14 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)
第 15 図	出土遺物	(S=1/2), (S=1/4)

第1章 宿尻遺跡

(穴山町字宿尻 4462-5 ほか 地点)

第1節 調査に至る経緯

調査地点である穴山町字宿尻 4462-5 ほか地点は周知の埋蔵文化財包蔵地である宿尻遺跡の範囲に位置する。令和3年度に個人住宅建設の計画があり、文化財保護法第93条の届出を受けた。山梨県観光文化・スポーツ部から試掘調査の指示が事業者であり、市教委では事業者との協議を行い、試掘調査を実施した。その結果、開発予定地内に遺構・遺物が検出された。

市教委と事業者との協議の結果、記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなった。発掘調査は令和3年度に実施し、その後令和4年度から7年度にかけて出土品等の整理作業及び報告書刊行業務を行った。

今回の調査は、個人住宅建設地内の331㎡を対象とした。調査の便宜上北から南報告へA～Dのグリッドを設定し、さらにA～Dの各グリッドを西から東へ1～3に分割して調査を行った。

第2節 遺跡の立地と環境

宿尻遺跡は山梨県韭崎市穴山町字宿尻に所在する。遺跡は、韭崎市を流れる釜無川と塩川に挟まれた七里岩台地と呼ばれるハヶ岳泥流上の標高約540mのところであり、南には能見城山、北には兜山とそれぞれ小高い山の間に位置し、西側に向かって緩やかに傾斜をして、周辺は沢地形に囲まれている。

本遺跡は、これまで何度か発掘調査が行われており、主な調査として1993年の山梨県（当時の山梨県教育委員会）による県道穴山停車場線拡幅工事に伴う調査、2002年の韭崎市教育委員会によるデイサービスセンター建設に伴う調査、2016年の市道（穴山）22号線道路改良工事に伴う調査等がある。本調査は、2016年調査地点より約160m北に位置している。

第3節 遺構と遺物

1号溝状遺構（MZ1）

調査区の中心からやや東側から検出された。幅3m、深さ40cmで南北方向に延び、やや南西側へ流れていた。遺構内からは、勝坂式後半の縄文土器等が検出されたが、古墳時代の高坏と考えられる遺物（MZ1-1）も検出されていることから、遺構は古墳時代以降のものと考えられる。

A1グリッド1号土坑（A1-SD1）

調査区北西のB1グリッドとの境から検出された。遺構内から勝坂式後半の浅鉢（A1SD1-1）が検出されており、口唇部に6本沈線が確認出来る。

A1グリッド5号土坑（A1-SD5）

調査区北西の北端から検出された。ピットや土坑が複数切り合っている状態であり、切り合い関係を確認して、A1-SD4・A1-SD13・A1-PT7・A1PT8に切られていて、西側のA1-SD12を切っている状態であることを確認した。遺構内から勝坂後半のミニチュア土器が検出された。（A1SD5-1）

A1グリッド7号土坑（A1-SD7）

調査区北西の北端から検出された。ピットや土坑が複数切り合っている状態であり、切り合い関係を確認して、A1-SD144に切られていて、南東側のA1PT3・A1PTを切っている状態であることを確認した。遺構内から勝坂式後半の深鉢が検出された。（A1SD7-1）

A2グリッド3号土坑（A2-SD3）

調査区北側から検出された。南西のA2PT12を切っている状態で検出された。遺構内から勝坂式後半の深鉢が検出された。（A2SD3-1）

A2グリッド4号土坑（A2-SD4）

調査区北端から検出された。北側の端は調査区外へ延びていて、A2-PT2と切り合っており、土層観察の結果、A2SD4が新しく掘られていることを確認した。遺構内から勝坂式後半の深鉢が検出された。（A2SD4-1）

A2 グリッド 8 号土坑 (A2-SD8)

調査区北西の北端から検出された。周辺がピットや土坑が複数切り合っている状態であり、A2SD9 に切られていることを確認した。遺構内から勝坂式後半の深鉢を検出した (A2SD8-1) (A2SD8-2)。

A2 グリッド 11 号土坑 (A2-SD11)

調査区北端、MZ1 の西隣から検出された。遺構の北端は、北側へ延びていると考えられる。遺構内から勝坂式後半の深鉢 (A2SD11-1) と横羽型石器 (A2SD11-2) が検出されている。

A2 グリッド 13 号土坑 (A2-SD13)

A2-SD9 の南側から検出された。周辺がピットや土坑が複数切り合っている状態であり、切り合い関係を確認して A2-SD9・A2-SD7・A2-SD11 を切って掘られていることを確認した。遺構内からは、勝坂式後半の深鉢 (A2SD13-1) (A2SD13-2) や石皿 (A2SD13-3) が検出されている。

A2 グリッド 8 号ピット (A2-PT8)

調査区の北側、MZ1 の西隣から検出され、非常に多数の遺構が切り合っている状態であり、A2-PT7 に切られていた。遺構内からは、曾利式前半の深鉢 (A2PT8-1) が検出されている。

B1 グリッド 1 号土坑 (B1-SD1)

調査区西端から検出された。遺構の西側半分は、調査区外へ延びていると考えられる。遺構内からは、石皿 (B1SD1-1) が検出されている。

B1 グリッド 2 号土坑 (B1-SD2)

調査区西側から B1 グリッド 3 号土坑 (B1-SD3) と重なり合うかたちで検出された。切り合い関係を観察すると、B1-SD2 が新たに掘られていたことがわかる。遺構内からは、勝坂式後半の深鉢 (B1SD2-1) が検出されている。

B1 グリッド 4 号土坑 (B1-SD4)

調査区西側から検出された。遺構内から勝坂式後半の浅鉢 (B1SD4-1)、土偶の背から脇部が検出された。土偶の脚部には沈線文が確認出来る

(B1SD4-2)。

B1 グリッド 6 号土坑 (B1-SD6)

調査区西側中央よりやや北の所から検出された。遺構内から勝坂式後半の深鉢が検出された。

B1 グリッド 7 号土坑 (B1-SD7)

調査区中央の西側から検出された。2つのピットと重なり合うかたちで検出され、切り合い関係を確認し、最も新しく掘られた土坑であったことを確認した。遺構内から安山岩製の台石 (B1SD7-1) が検出された。

B1 グリッド 1 号ピット (B1-PT1)

調査区西側から検出された。遺構内からは、勝坂式後半の浅鉢 (B1PT1-1) の半分がほぼ完形のかたちで検出された。

B2 グリッド 1 号土坑 (B2-SD1)

調査区の中心部の MZ1 の東隣から検出された。土坑の底部には壁際に沿うように溝が掘られている。遺構内からは、曾利式後半の深鉢 (B2SD1-2)、曾利式終末の深鉢 2 点 (B2SD2-1) (B2SD2-3) 等や打製石斧 (B2SD2-4) が検出されている。

B3 グリッド 1 号ピット (B3-PT1)

調査区東側より検出された。遺構内からは、勝坂式後半の深鉢が検出された。

C1 グリッド 7 号土坑 (C1-SD7)

調査区南西側から検出され、MZ1 によって東側が削られていた。遺構内からは、安山岩製の石皿 (C1SD7-1) が検出された。

C1 グリッド 9 号土坑 (C1-SD9)

調査区南西から C1-SD10 と重なり合うように検出された。切り合い関係を確認して C1-SD9 の方が新しく掘られていることを確認した。遺構内からは、土器や石器が集中して検出された。

C3 グリッド 1 号土坑 (C3-SD1)

調査区の東側から検出した。深さが 2 m 以上あり、土坑の底部にはピットが 5 基検出され、底部

の中心に1基あり、そのピットを基軸として四方に配置するようにピットが掘られていることを確認した。土坑の土層観察をすると、各ピットは細長く深く掘りこまれており、棒状のものを差し込むような形となっていた。

他の調査区のピットや土坑と比べてもこの土坑が深く掘り込まれており、加えて棒状のものを差し込めると考えられるピットが検出されていることから、落とし穴跡と想定される。

遺構出土遺物

B1 グリッド1号遺物集中地点 (B1-IB1)

調査区の東側より検出された。勝坂式後半の深鉢土器でありまとまって出土した遺物は同一個体であり、接合可能であった(第19図)・(第20図)。また検出時に同一個体の土器片が重なり合うように出土したが、初めに出土した土器とその後出土した土器の上下が反対の向きになっていた。

B1 グリッド2号遺物集中地点 (B1-IB2)

調査区の東側より検出された。勝坂式後半の深鉢土器でありまとまって出土した遺物は同一個体であり、接合可能であった(第21図)。土器の内部は撫でで成形されており、外部は区画文が確認出来る。粘土紐が貼付けられているのが特徴的である。

B1 グリッド3号遺物集中地点 (B1-IB3)

調査区の東側より検出された。勝坂式後半の深鉢土器でありまとまって出土した遺物は同一個体であり、接合可能であった(第19図)。

内部は撫でで成形されており、外部は刺突文、沈線文が確認出来る。

まとめ

本調査では主に調査区全体から、縄文時代中期の遺物とピット・土坑といった遺構が多数検出されました。また菰崎市内では初見となる落とし穴跡を検出した。使用された時期は他の自治団体の調査事例等も踏まえて検討する必要がある。

検出したピット・土坑等は非常に多いがその内、特徴的なものをあげてみると、A1-SD7号土坑では、鉢形に再加工したかのような土器が、口縁部の一

部が欠けている状態で出土した。

B2-SD1号土坑では、浅鉢や小型のほぼ完形の土器等が出土した。この土坑は、内部がフラスコのような袋状になっている。また底の周囲に溝が廻らされて、一部溝が掘られていないところは、他の床よりもやや高くなっていた。性格としては、食料等を備蓄する貯蔵穴であったと考えられる。

本調査の中でも興味深い発見だったのが、同一個体の土器片が、一点に集中して出土したところが挙げられる。B1-IB1では土器の出土状況を調査したところ、初めに出土した土器とそれを取り上げた後に出土した土器の上下が反対の向きになっており、土坑に土器を埋める時の縄文人の仕草が垣間見える出土状況といえる。

本調査の中でも興味深い発見だったのが、落とし穴跡の検出である。落とし穴の底面には逆茂木を設置したと推定される5基のピットが、サイコロの5のように配置されていた。

落とし穴の深さは、約2m程で、堆積土は大きく2つに分けることができ、上層(1層)は縄文時代中期の遺物を中心に確認された。下層(2層)はロームブロックを多く含み、しまりがややあり、下層(2層)の上面では底面の逆茂木のピットに対応する状態でその痕跡を確認することが出来た。

本調査区内では、住居跡が検出されず、貯蔵穴のような土坑が見つかったことから、それらを保護するためであった可能性がある。

以上のように本調査では、縄文時代中期の時期を中心とした調査成果となった。これまでの宿尻遺跡とは違い、住居跡と思われる遺構は確認出来ず、ピットや土坑といった遺構がほとんどであった。また希少な落とし穴跡が出土したり、遺物が集中的に出土する地点が存在するなど、新たな調査成果を得られてといえる。

なお紙面の都合により、B1-IB1、IB2、IB3及びB2-SD1の遺構や遺物出土状況については今回の報告書には掲載出来ない。今後追加報告を行う予定であることを附記しておく。

11月30日	214		支店 福原		支店	213	11	413	201
11月30日	215	01-0	支店		支店	215	24	336	177
11月30日	215	02	支店		支店(ア)支店	53	1018	118	473
11月30日	217	00	支店		支店	411	164	113	302
11月30日	211	00	支店		支店	63	1018	111	301
11月30日	217	00-0	支店		支店	146	111	113	411
11月30日	240	00	支店			22	111	101	111
11月30日	241	00	支店			11	111	101	111
11月30日	249	00	支店			10	111	111	111
11月30日	227	00	支店			12	111	111	111
11月30日	217	00	支店(ア)		支店	101	147	111	111
11月30日	215	02	支店(ア)		支店	111	111	111	111
11月30日	211	00	支店(ア)		支店(ア)支店	101	147	111	111
11月30日	244	00-0	支店(ア)		支店	111	111	111	111
11月30日	213	00	支店(ア)		支店	110	147	111	111
11月30日	243	00-0	支店(ア)		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	218	00-0	支店(ア)		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	215	02	支店		支店	111	111	111	111
11月30日	240	00	支店(ア)支店		支店(ア)支店	111	111	111	111
11月30日	217	00	支店(ア)支店		支店	111	111	111	111
11月30日	216	00	支店(ア)支店		支店	101	147	111	111
11月30日	211	00	支店(ア)支店		支店	111	147	111	111
11月30日	247	00-0	支店(ア)支店		支店	101	147	111	111
11月30日	216	00	支店(ア)支店		支店	111	111	111	111
11月30日	242	00	支店(ア)支店		支店	111	147	111	111
11月30日	249	00	支店(ア)支店		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	219	00	支店		支店	111	111	111	111
11月30日	210	00-0	支店		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	216	00	支店		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	218	00	支店		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	211	00	支店		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	214	00	支店		支店(ア)支店	111	147	111	111
11月30日	217	00-0	支店		支店(ア)支店	111	147	111	111

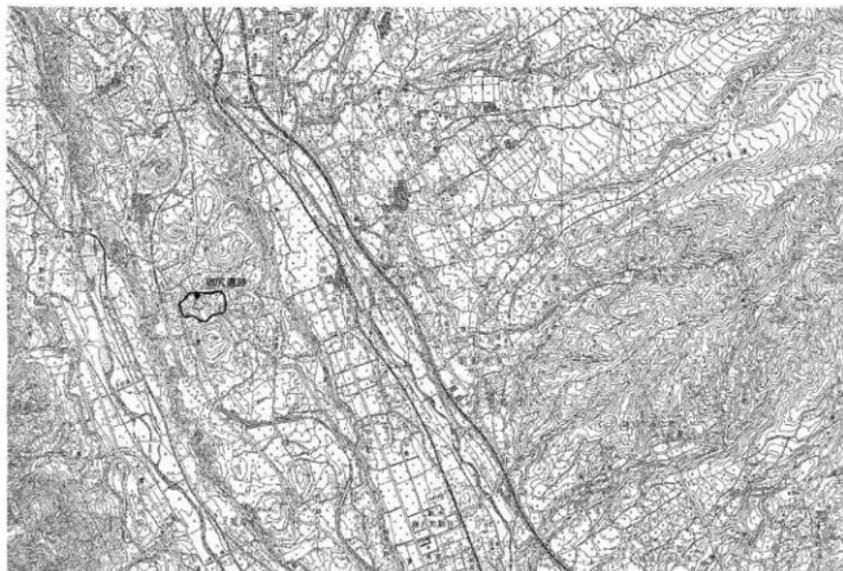
第2表 宿原遺跡土層説明

図№	遺構名	層№	層土	土壌内容
4	調査区北壁	I	耕作土	
		II	暗黄褐色土	
		IIIa	暗黄褐色土	IIIbよりもやや明るい いわゆるエセローム
		IIIb	暗黄褐色土	
		IIIc	暗黄褐色土	色調やや明るい ロームが混合する
5	1号溝 (MZ1) A-A'	I	表土	
		II	耕作土	
		1	褐色土	根やや含む 粘性弱 しまり強
		2	褐灰色土	根やや含む 粘性やや強 しまり弱
		3	褐色土	粘性強 しまり弱
		4	にぶい黄褐色土	根やや含む ロームの土やや含む 粘性強 しまりやや強
		5	褐色土	粘性弱 しまり強
		6	にぶい黄褐色土	粘性やや強 しまり弱
		7	黒褐色土	粘性弱 しまり強
		8	黄褐色土	ロームの土が混ざる 粘性強 しまり弱
		9	黒褐色土	粘性弱 しまり強
10	黒褐色土	ロームの土が若干混ざる 粘性強 しまり弱		
11	褐灰色土	粘性強 しまり弱		
5	1号溝 (MZ1) B-B'	1	にぶい黄褐色土	根が混ざる 粘性やや強 しまり弱
		2	黒褐色土	根やや混ざる 粘性やや強 しまり弱
		3	黄褐色土	根やや混ざる ロームと道構層土が混ざる 粘性弱 しまり強
		4	黒褐色土	ロームの土が若干混ざる 粘性やや強 しまり弱
		5	黄褐色土	ロームと道構層土が混ざる 粘性やや強 しまり弱
		6	黒褐色土	ロームの土が若干混ざる 粘性やや強 しまり弱
6	AI-PT2	1	暗黄褐色土	φ5~10mmソフトロームブロック(SLB)+漸移層 φ0.5mmC微 しまり・粘性やや強 きめやや細
6	AI-SD13	1a	暗黄褐色土(2より暗)	漸移層主体 φ5~10mmSLB少 φ0.5mmC微 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや細
		1b	暗黄褐色土(2より暗)	漸移層主体 φ5~10mmSLB微 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや細
6	AI-PT11	2	暗黄褐色土	SLB+漸移層 粘性やや強 しまりやや強 きめ粗
		1a	暗黄褐色土	漸移層主体 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層主体 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		1c	暗黄褐色土	漸移層主体 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
6	AI-PT1	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ5~10mmSLB少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層主体 φ5~10mmSLBやや少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1	暗黄褐色土	漸移層主体 φ0.5~1mmLRやや少 粘性やや弱 しまりやや弱 きめ細
		2a	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ2mmSLB微 ソフトロームの割合高い 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2b	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 色調2aよりも暗 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
7	AI-SD4	2c	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 色調2の中で一番暗 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2d	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 色調2bと同じ 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		3	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 ソフトロームの割合が極めて高い 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		4	明黄褐色土	ソフトローム主体 RLBが多い 粘性やや強 しまりやや強 きめ粗
7	AI-SD5	1	暗黄褐色土	漸移層主体 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
7	AI-SD12	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1mmC微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層+ソフトローム 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
7	AI-SD6	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ0.5~1mmC少 φ5~10mmSLB微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	色調1aよりも明るい 漸移層+ソフトローム φ0.5~1mmC少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
8	AI-PT3	1a	明黄褐色土	ソフトローム主体 ソフトロームより色調やや暗い 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1b	明黄褐色土	ソフトローム主体 1aよりもやや暗い 粘性やや強 しまりやや強 きめ細
8	AI-SD7	1a	暗褐色土	漸移層主体 φ0.5~1mmLR・FR・Cやや少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗褐色土	漸移層主体 φ0.5~1mmLR・FR・C少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2a	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ0.5~1mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2b	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ0.5~1mmC微 φ5~10mmSLBやや少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
8	AI-SD14	3	明黄褐色土	ソフトローム主体 1bを少なく含む 粘性強 しまり強 きめ粗 ※ 2a・2bはフラスコ状土塊のくびれ部の崩落土の可能性あり
		1	明黄褐色土	ソフトローム主体 粘性強 しまり強 きめ細

8	A2-S01	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1mmCやや少 φ1mmLR少 φ2~5mmHLB少 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層主体 1aに似るが色調明るい 粘性やや弱 しまりやや弱 きめ粗
		2a	明黄褐色土	ソフトローム主体 φ5~10mmSLBやや少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2b	明黄褐色土	ソフトローム主体 φ5~10mmSLB少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
9	A2-S03	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ0.5~1mmC微 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層主体 φ5~10mmSLBやや少 φ0.5mmC微 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		2a	暗黄褐色土	漸移層+ソフトローム φ5~10mmHLBやや少 粘性やや強 しまりやや強 きめ粗
		2b	暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
9	A2-PT13	1a	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ0.5~1mmC微 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		1c	暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ2~3mmHLB微 φ0.5mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
9	A2-S012	1a	暗黄褐色土	ソフトローム主体 φ0.5mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	ソフトローム主体 φ5mmHLB微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム主体 地山か? 粘性やや強 しまり強 きめ粗
		1a	暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
9	A2-S04	1b	暗黄褐色土	漸移層主体 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1	暗黄褐色土	漸移層主体
		1a	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ0.5~1mmLRやや少 φ1mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
10	A2-S08	1b	暗黄褐色土	漸移層+ソフトローム φ0.5~1mmLRやや多 φ1mmC少 粘性やや弱 しまりやや強 きめ粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ1mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		3	明黄褐色土	ソフトローム主体 地山か? 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
10	A2-S013	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1~3mmSLBやや少 φ1mmC微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1mmCやや少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2	暗黄褐色土	漸移層主体 φ2~5mmSLB少 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		1	暗黄褐色土	漸移層主体
10	A2-S010	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1~2mmSLBやや多 φ1mmC・FR微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層主体 1aに似るが色調が明るい 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2	明黄褐色土	ソフトローム主体 φ5~10mmHLB微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1	黄褐色土(2.5Y5/3)	ソフトローム+漸移層主体 炭化物・ローム粒子混ざる 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
11	A3-S07	2	黄色土(2.5Y7/8)	ソフトローム 地山
		1	黄褐色土(2.3Y5/3)	ソフトローム+漸移層主体 根・炭化物混ざる 粘性やや強 しまりやや弱 きめ粗
		1a	暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLRやや多 φ1mmC少 φ3~5mmLB少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗褐色土	漸移層主体 1aに似るが色調がやや明るい 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
11	A3-S08	2a	暗黄褐色土	ソフトローム主体 1bにソフトロームを多く混合 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2b	暗黄褐色土	2aに似るが色調やや暗 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2c	暗黄褐色土	2bに似るが色調やや明 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		3	明黄褐色土	ハードローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめ粗
				※2a~2cは袋状の上半部の崩落土の堆積か
		1	黄褐色土	ソフトローム+漸移層主体 根がやや混ざる 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
11	A3-PT29	1	黄褐色土	ソフトローム 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		1	黄褐色土	ソフトローム+漸移層主体 根がやや混ざる 粘性弱 しまり強 きめやや粗
		1	黄褐色土	φ2~3mmLBやや少 φ1mmC微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
12	B1-S02	1a	暗黄褐色土	1aに似るが色調やや明るい 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	1aに似るが色調やや明るい 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2	明黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		3	暗黄褐色土	漸移層主体 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
12	B1-S03	1	暗黄褐色土	漸移層+ソフトローム混合土 φ1mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1	暗黄褐色土	粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1	暗黄褐色土	ソフトローム主体 漸移層少なく混合 φ1mmLR少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム主体 地山よりやや暗い 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
12	B1-PT1	1a	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1mmLR少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	漸移層主体 φ1mmLR少 φ0.5~1mmFR・C微 φ5~10mmHLB微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1c	暗黄褐色土	漸移層主体 φ5~10mmHLB微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2a	暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
		1b	暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2b	明黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗

		※2a・2bは壁の崩落土か、本来はフラスコ状の土坑だった可能性が高い 井戸尻層の土器片が1a層及び2bもしくは1c層のレベルで出土している	
12	B3-S05	1a 暗黄褐色土	φ1mmLR少 φ3~5mmLB微 粘性やや強 しまりや強 きめやや粗
	1b 明黄褐色土	φ1mmLR・φ5~10mmLBやや少 粘性やや強 しまりや強 きめやや粗	
	1c 明黄褐色土	φ5~10mmLBやや少 粘性やや強 しまりや強 きめやや粗	
	2 暗褐色土	φ1mmC微 粘性やや弱 しまりやや弱 きめ粗	
13	C1-S03	1a 暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLRやや多 φ3~5mmLB少 φ1mmC微 粘性やや強 しまりやや強 きめ粗
	1b 暗褐色土	1aに似るが色調やや暗い 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗	
	2 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗	
13	C1-PT9	1 暗褐色土	漸移層主体
	1a 暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLRやや多 φ3~5mmLB微 φ1mmC微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗	
13	C1-S05	1b 暗褐色土	1aに似るが色調やや暗い 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1c 暗褐色土	1aに似るがφ3~5mmLBやや少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1d 暗褐色土	1aに似るが色調やや明るい 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2a 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2b 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 2aよりも色調明るい 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
13	C1-S04	1 暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLRやや多 φ3~5mmLB少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
	1 暗褐色土	漸移層主体 φ1~2mmLR・φ2~10mmLBやや少 φ1mmC微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗	
13	C1-S08	2a 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ5~10mmLB少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2b 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 2aに似るがLBが微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2c 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 2aに似るが色調やや明るい 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		3 明黄褐色土	ハードローム+ソフトローム 粘性やや強 しまりやや弱 きめ極粗
13	C1-S07	1 暗褐色土	漸移層+ソフトローム φ2~3mmLB少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2 暗褐色土	漸移層+ソフトローム φ5~10mmLBやや少 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
14	C2-S01	1a 暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLR・Cやや多 φ3~5mmLB少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1b 暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLR・Cやや多 φ3~5mmLBやや少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1c 暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLR・Cやや多 φ3~5mmLBやや少 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1d 暗褐色土	漸移層主体 φ1mmLR・Cやや多 φ3~5mmLBやや多 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2a 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 φ5~10mmLBやや多 粘性強 しまりやや強 きめやや粗
		2b 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 2aよりも色調やや暗 粘性強 しまりやや強 きめやや粗
		1a 暗褐色土	φ1mmLR・C少 土器含む 粘性やや弱 しまり強 きめ粗
		1b 暗褐色土	1aより色調明 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
14	B2-PT19	2 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		1a 暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性強 しまりやや強 きめやや粗
14	C2-PT12	1b 暗黄褐色土	ソフトローム主体 1aより色調暗 粘性強 しまりやや強 きめやや粗
		1c 暗黄褐色土	ソフトローム主体 1bより色調暗 粘性強 しまりやや強 きめやや粗
		1d 明黄褐色土	ソフトローム主体 粘性強 しまりやや強 きめやや粗
		1 暗黄褐色土	ソフトローム主体 明るい漸移層 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
14	C2-PT19	1 暗褐色土	漸移層主体 土器を含む φ5~15mmLBやや少 粘性やや強 しまり強 きめ粗
14	C2-S03	1 暗褐色土	φ1mmC・FR微 φ1mmLR少 粘性やや弱 しまり強 きめ粗
		2a ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗	
		2b 暗褐色土	2aより色調暗 粘性やや強 しまりやや弱 きめやや粗
15	C2-S05	1a 暗褐色土	φ1mmLR・C少 φ2~3mmLB微 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		1b 暗褐色土	1aに似るが色調やや暗い 粘性やや弱 しまりやや強 きめやや粗
		2a 暗黄褐色土	ソフトローム混合 φ1mmLR微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2b 暗黄褐色土	ソフトローム混合 φ5~10mmLB微 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2c 明黄褐色土	φ3mmLB微 φ5~10mmLB微 粘性やや強 しまりやや強 きめ粗
		1a 暗褐色土	漸移層主体 土器片を含む φ1mmLRやや多 φ1~3mmCやや少 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
15	C3-S01	1b 暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
		1c 暗褐色土	漸移層主体 1aに似るが色調やや暗い 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
		1d 暗黄褐色土	ソフトローム+漸移層 1bに似るが色調やや暗い 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
		1e 明黄褐色土	ソフトローム+ハードローム 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
		1f 暗褐色土	漸移層主体 1aに似るが色調暗い 粘性やや弱 しまりやや弱 きめやや粗
		2a 明黄褐色土	ハードローム+ソフトローム 粘性やや強 しまりやや強 きめ粗
		2b 暗褐色土	ソフトローム+漸移層 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
		2c 暗褐色土	ソフトローム+漸移層 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗
2d 暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗		
2e 暗黄褐色土	ソフトローム主体 粘性やや強 しまりやや強 きめやや粗		
3 暗褐色土	漸移層主体 粘性弱 しまりやや弱 きめ粗		

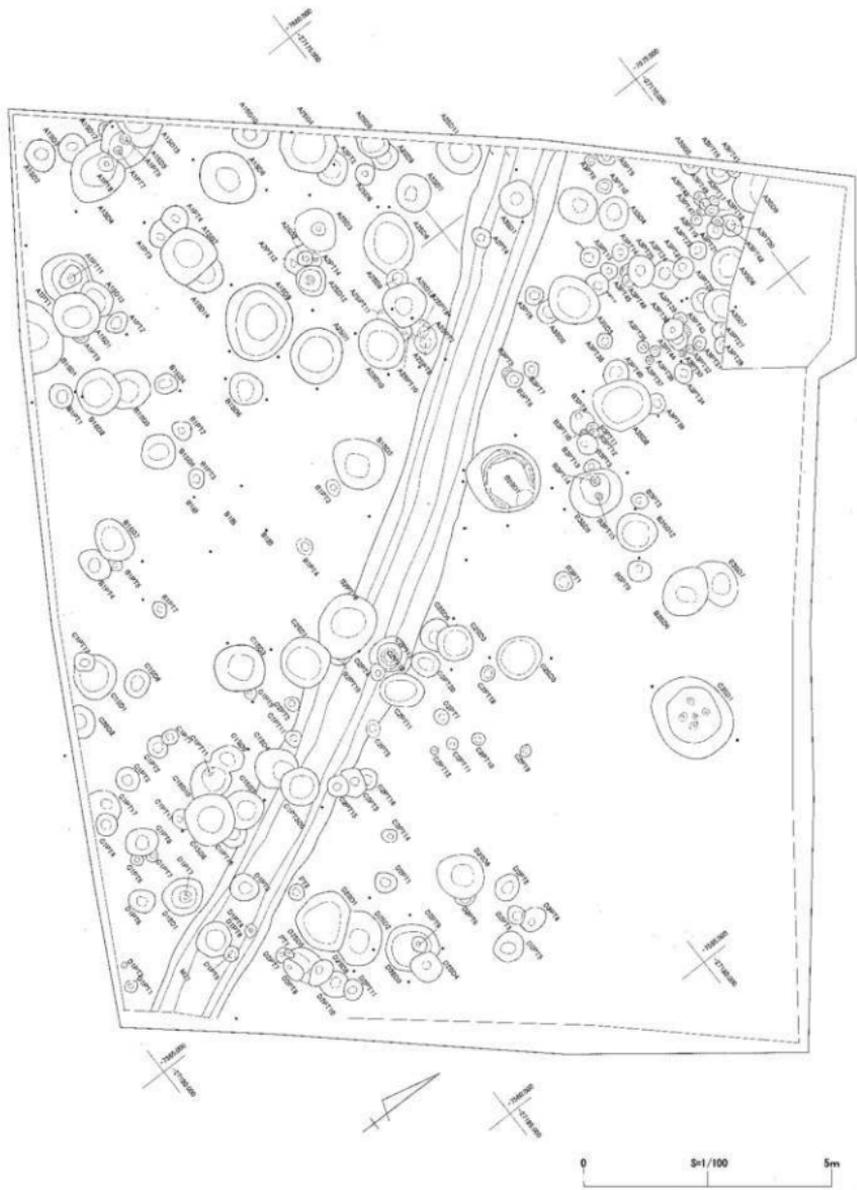
16	D2-SD2	1	暗褐色土	ϕ 1mmLR・ ϕ 3~5mmLB少	ϕ 1mmCやや少	粘性やや弱	しまりやや強	きめやや粗	
		2	暗黄褐色土	ソフトローム主体		粘性やや強	しまりやや強	きめやや粗	
16	D2-PT7	1	暗褐色土	ソフトローム+漸移層	ϕ 1mmLR微	粘性やや強	しまりやや強	きめやや粗	
16	D2-SD5	1a	暗褐色土	漸移層主体	ϕ 1mmLRやや少	ϕ 1mmC微	粘性やや弱	しまりやや強	きめ粗
		1b	暗褐色土	漸移層主体	1aに似るが色調やや明るい		粘性やや弱	しまりやや強	きめやや粗
		1c	暗褐色土	漸移層主体	1aに似るがきめ粗い		粘性やや弱	しまりやや強	きめやや粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム主体	1cが混入する		粘性やや強	しまりやや弱	きめやや粗
16	D2-PT8	1	暗褐色土	漸移層主体	ϕ 1mmLRやや少	ϕ 1mmC微	粘性やや弱	しまりやや強	きめやや粗
		2	暗黄褐色土	ソフトローム主体		粘性やや強	しまりやや弱	きめやや粗	
16	D2-SD8	1	暗黄褐色土	ソフトローム主体		粘性やや強	しまりやや強	きめやや粗	
16	D2-PT10	1	暗黄褐色土	ソフトローム主体		粘性やや弱	しまりやや弱	きめ粗	
16	D2-PT11	1	暗黄褐色土	ソフトローム主体		粘性やや弱	しまりやや弱	きめ粗	



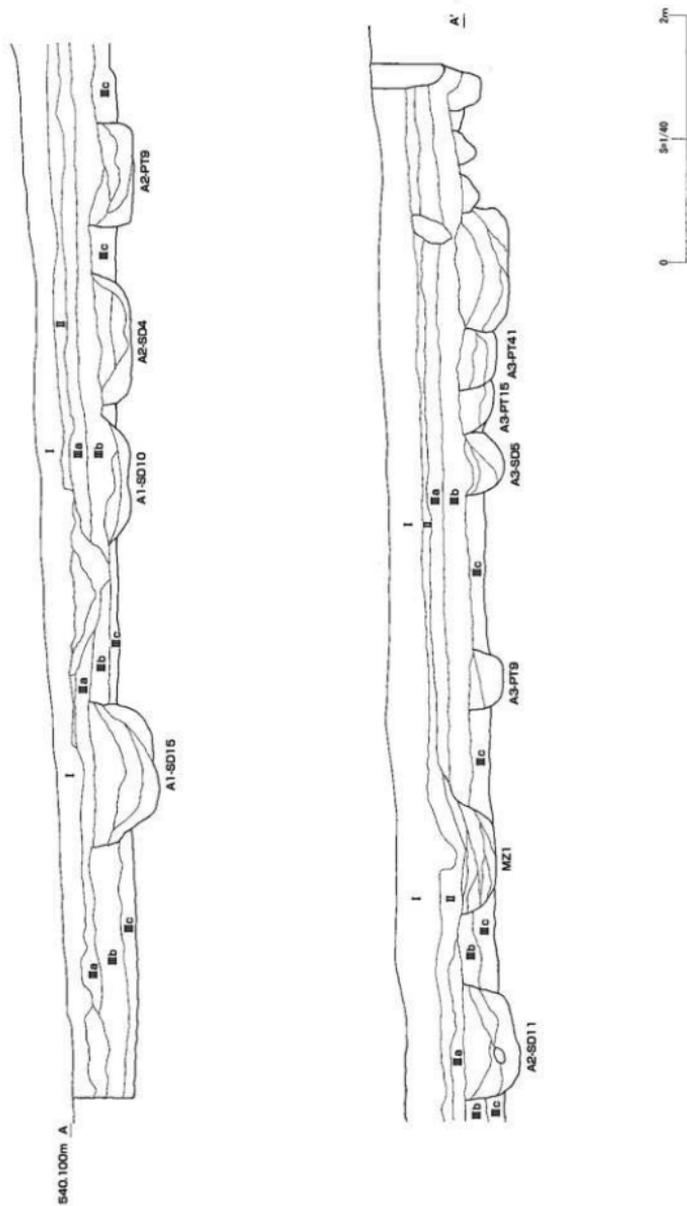
第1図 宿尻遺跡位置図 (S=1/50,000)



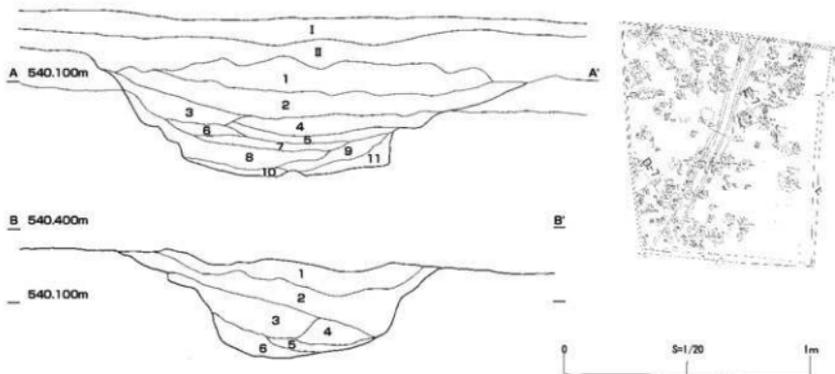
第2図 宿尻遺跡調査区位置図 (S=1/5,000)



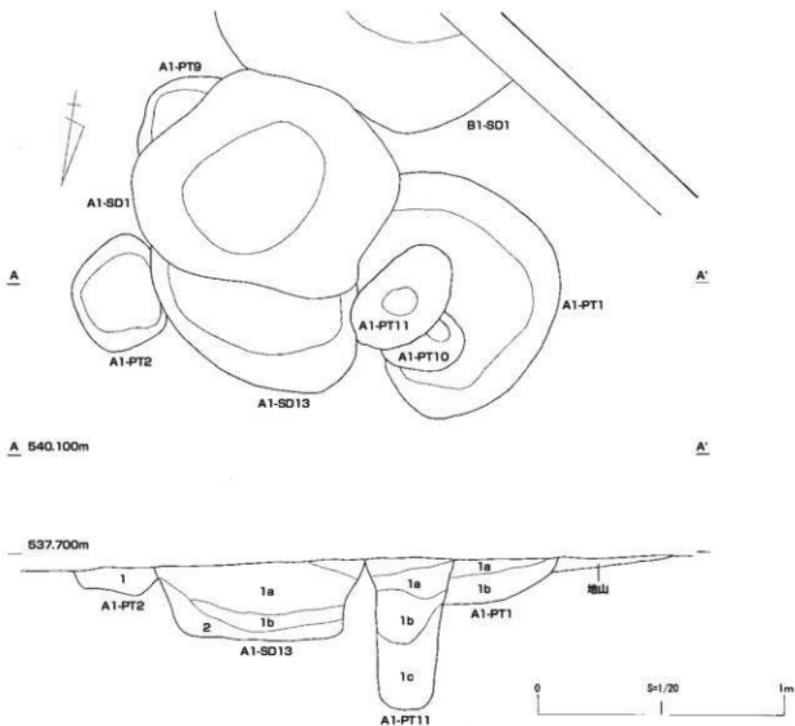
第3図 調査区全体図



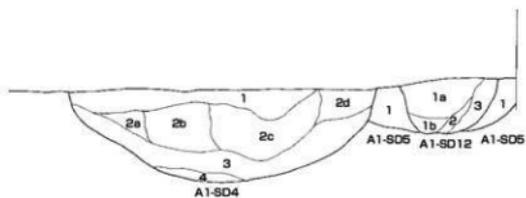
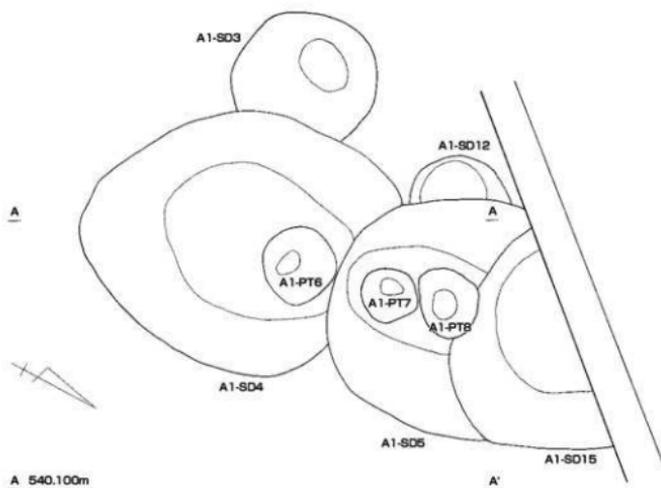
第4图 调查区北壁土层断面图



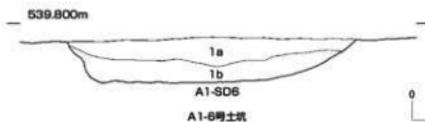
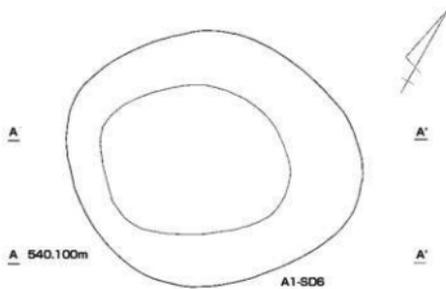
第5図 1号溝断面図



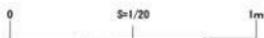
A1-1-13号土坑, A1-1-2-9-10-11号ビット, B1-1号土坑
第6図 土坑, ビット平・断面図



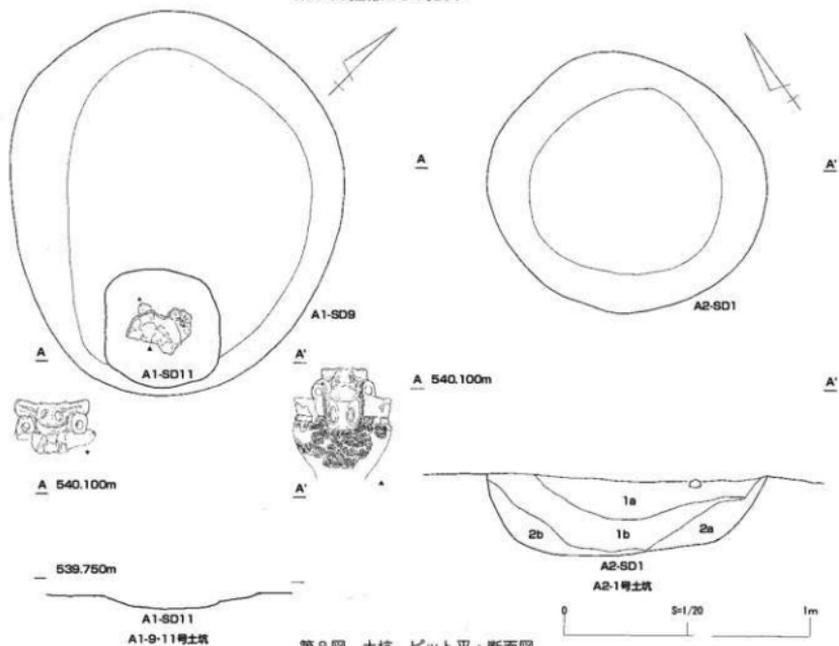
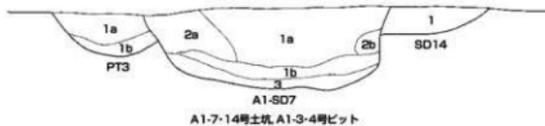
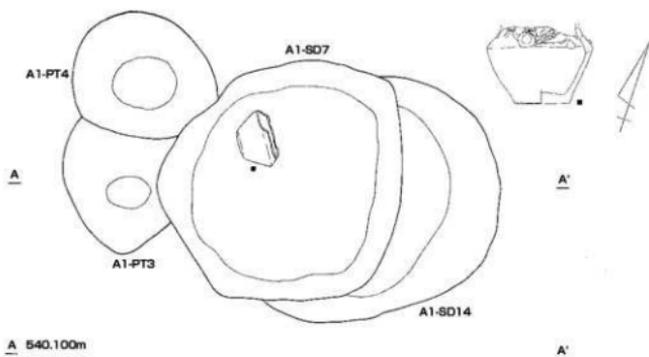
A1-3-4-5-12-15号土坑, A1-6-7-8号ビット



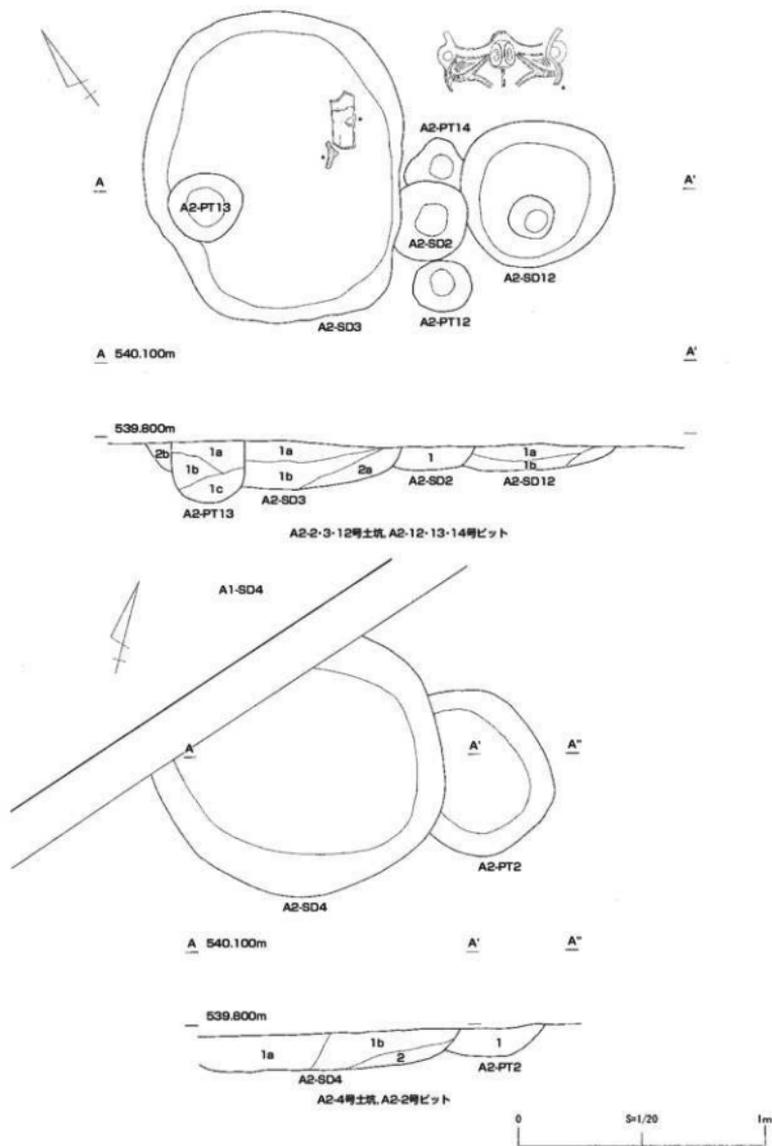
A1-6号土坑



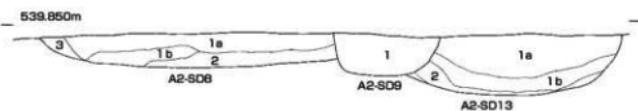
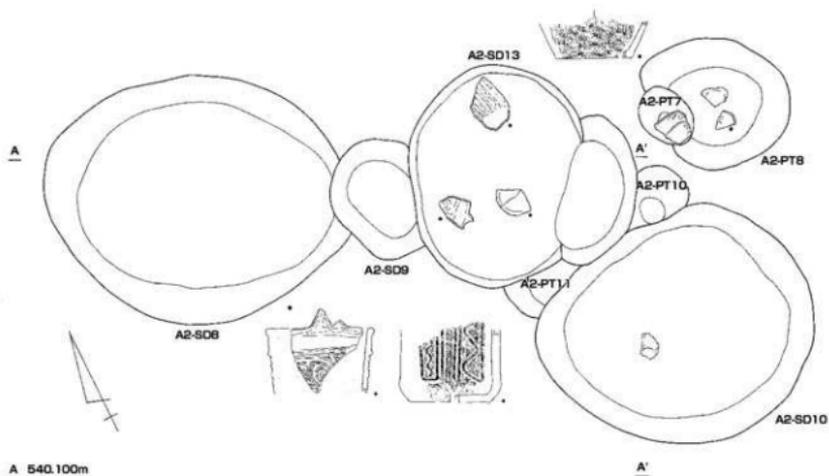
第7図 土坑, ビット平・断面図



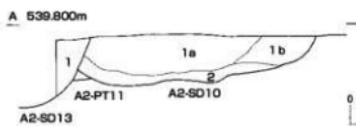
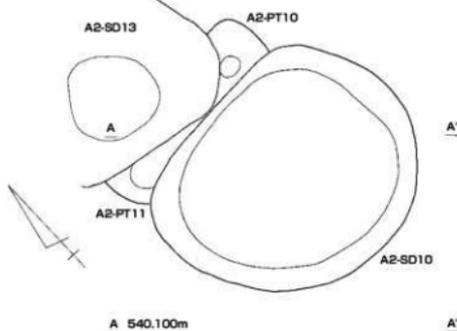
第8図 土坑, ビット平・断面図



第9図 土坑, ビット平・断面図

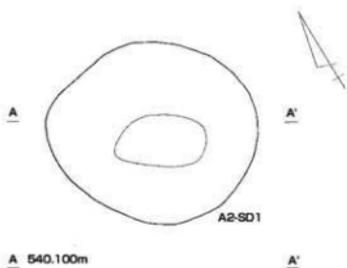


A2-8-9-10-13号土坑, A2-7-8-10-11号ビット

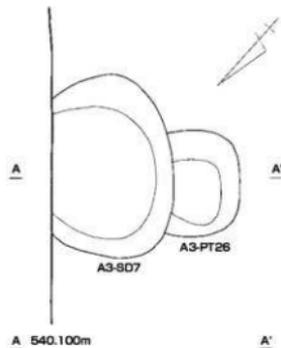
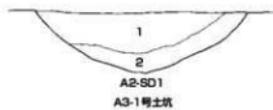


A2-10-13号土坑, A2-10-11号ビット

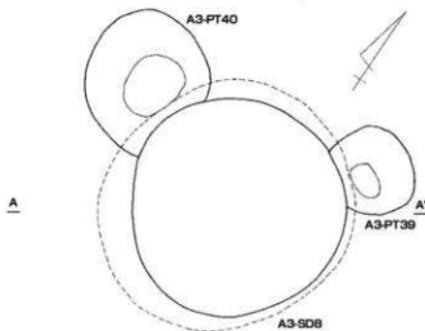
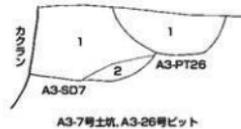
第10図 土坑, ビット平・断面図



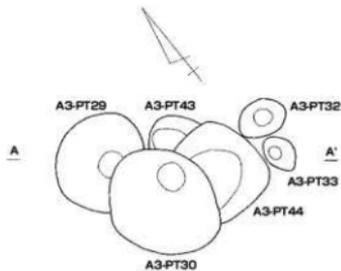
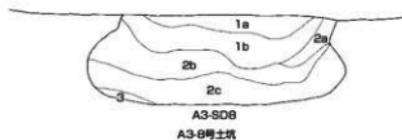
A 540.100m



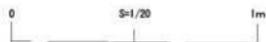
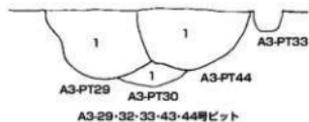
A 540.100m



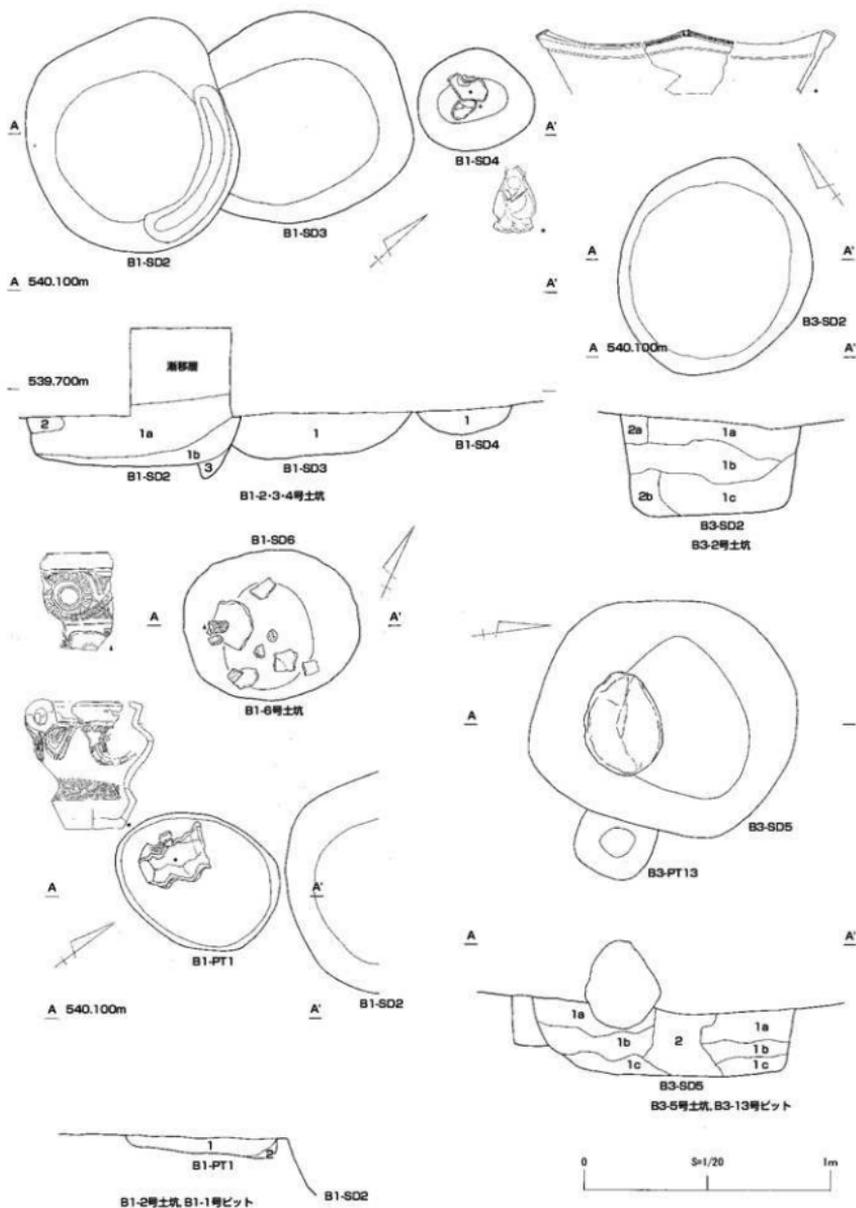
A 540.100m



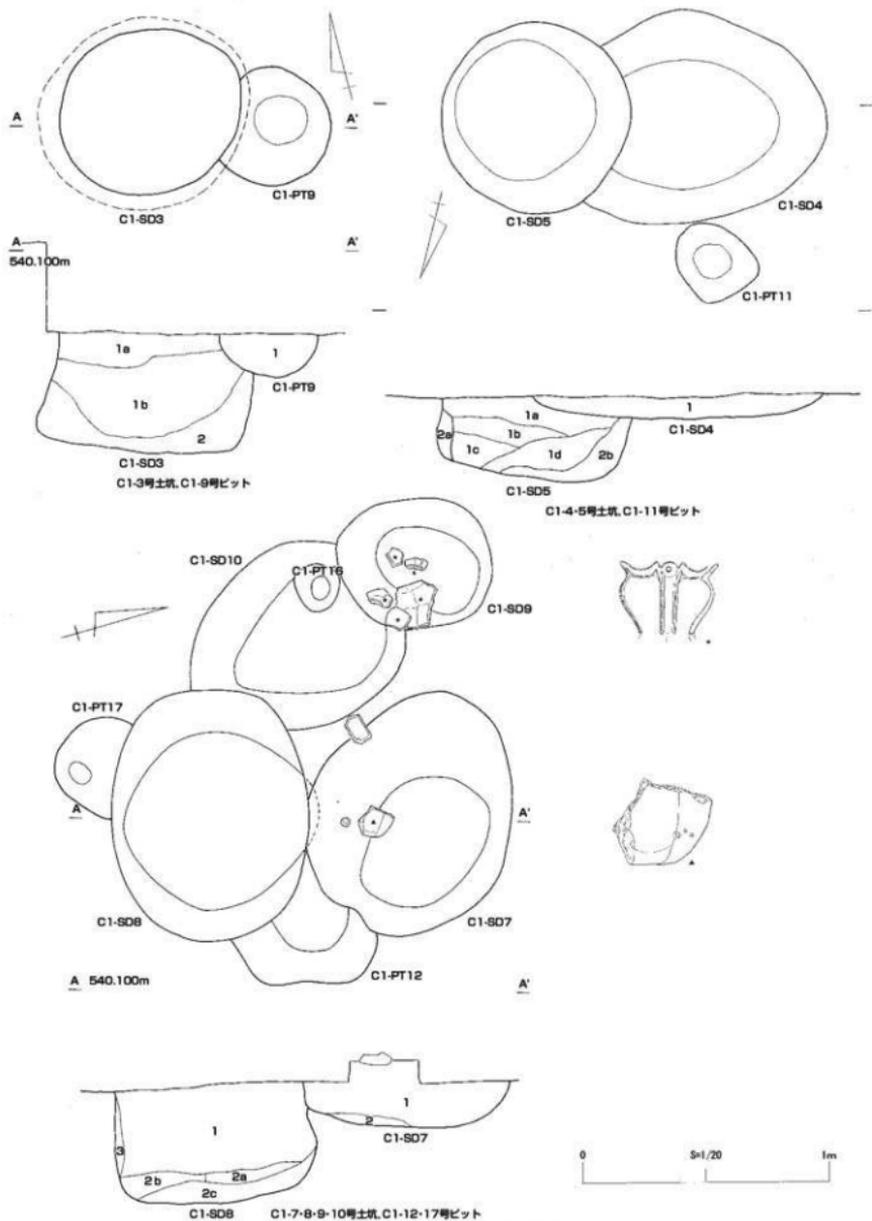
A 540.100m



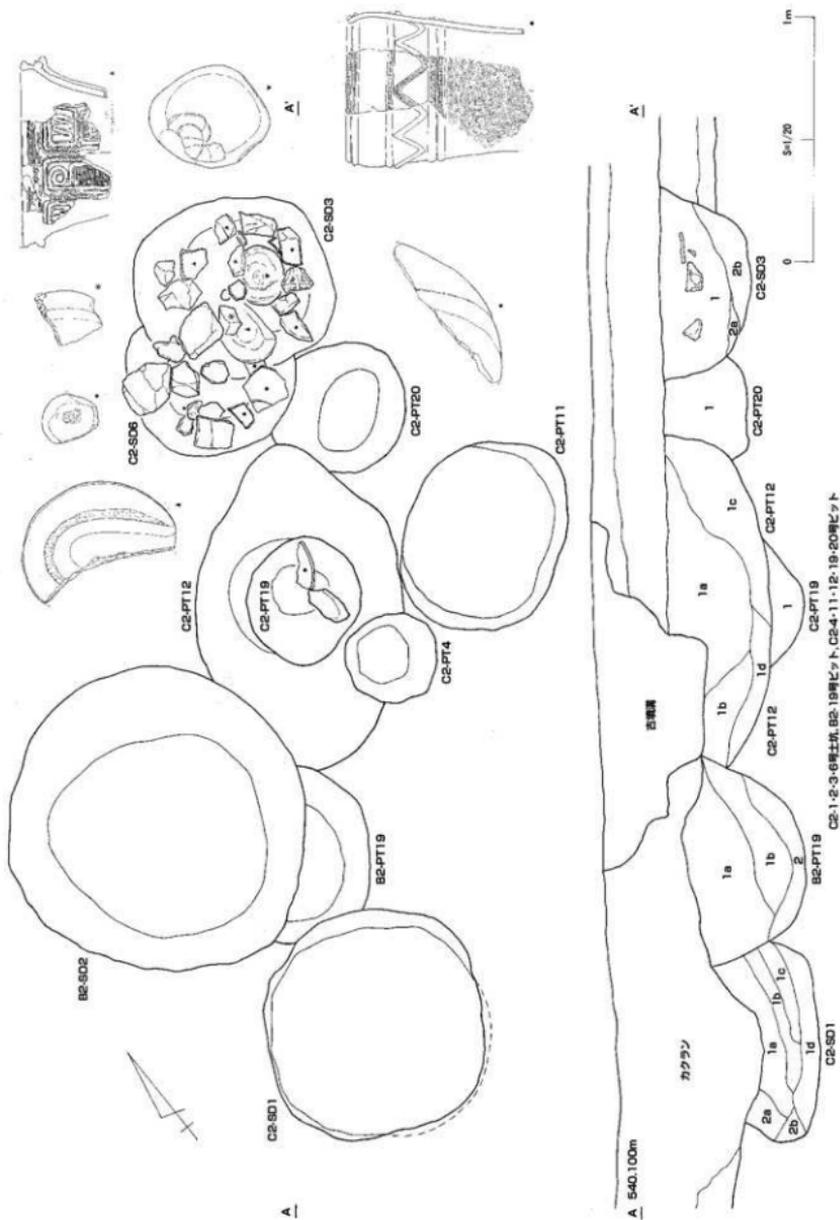
第11図 土坑、ピット平・断面図



第12図 土坑、ピット平・断面図

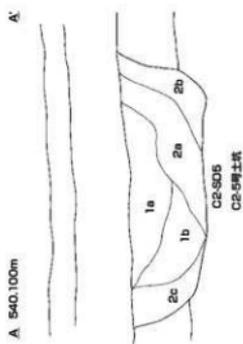
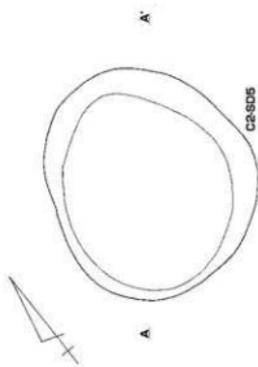
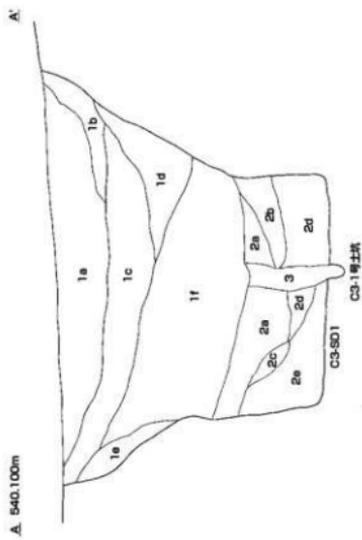
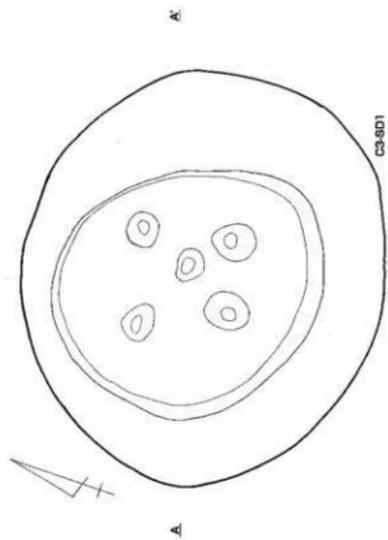


第13図 土坑、ビット平・断面図

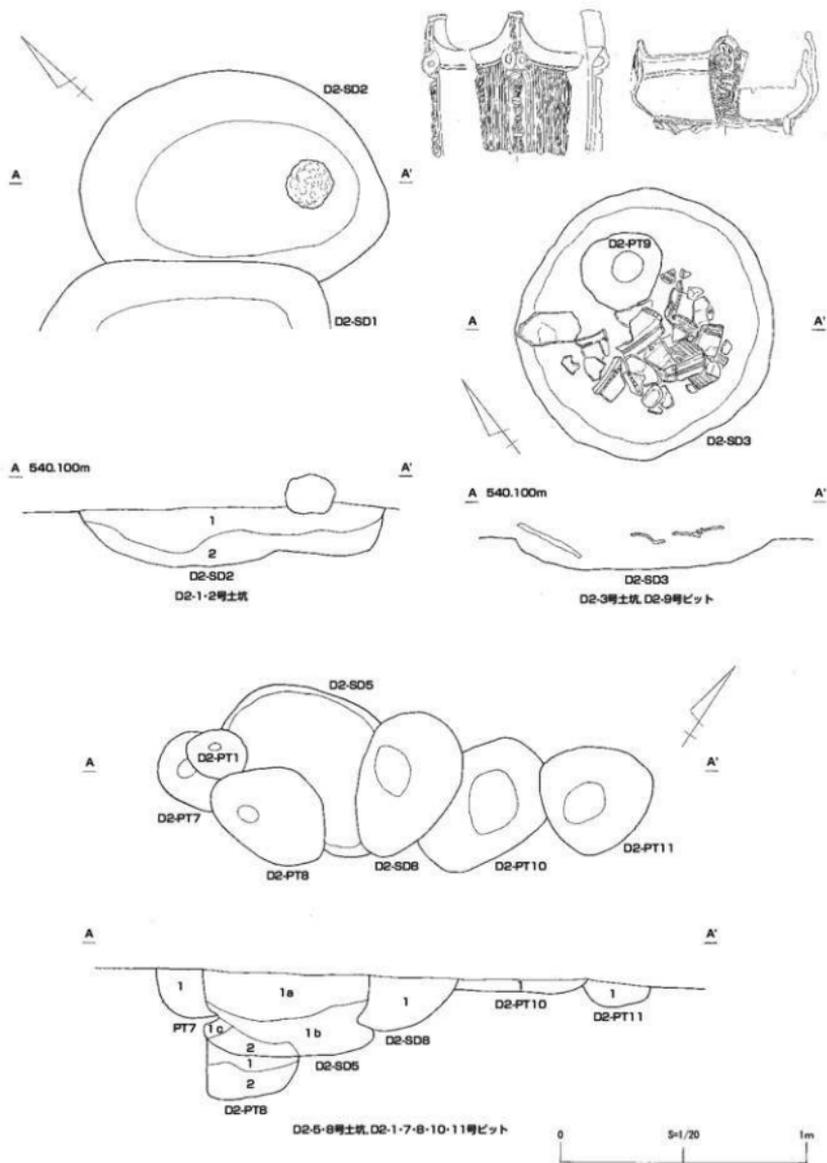


第15図 土坑、ピット平・断面図

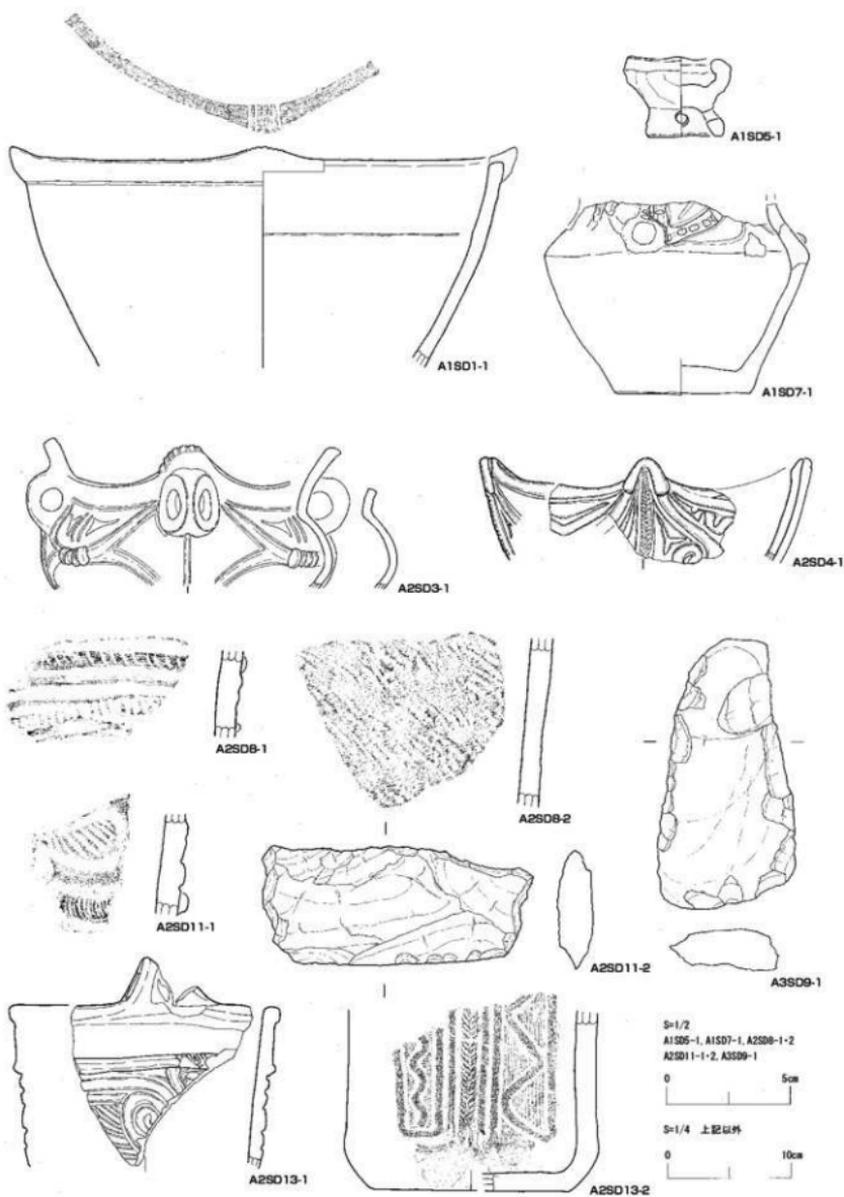
C2-1・2・3・6等土坑、B2-19等ピット、C2-4・11・12・19・20等ピット



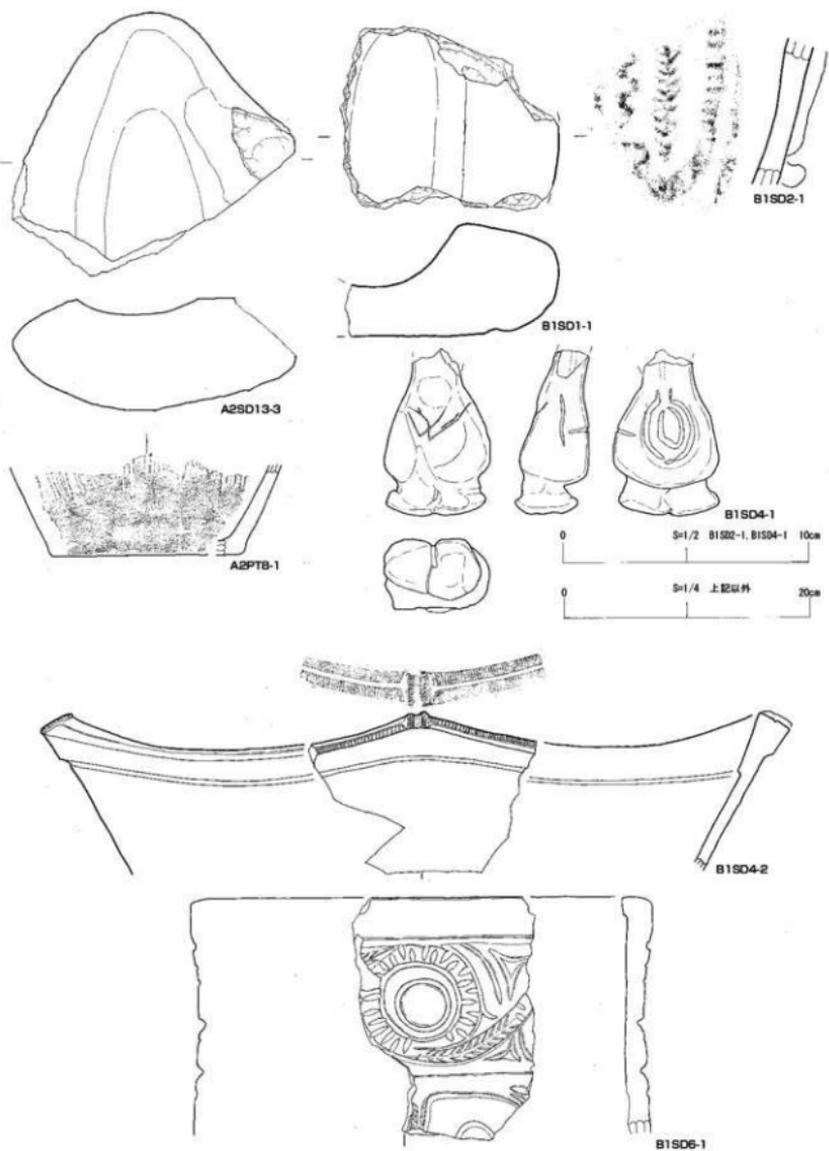
第15図 土坑、ピット平・断面図



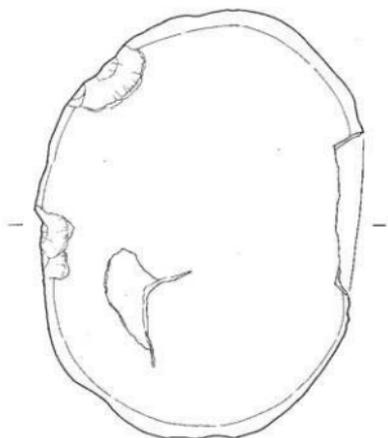
第 16 図 土坑、ビット平・断面図



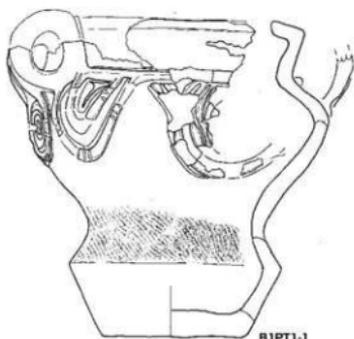
第 17 図 遺構内出土遺物 (1)



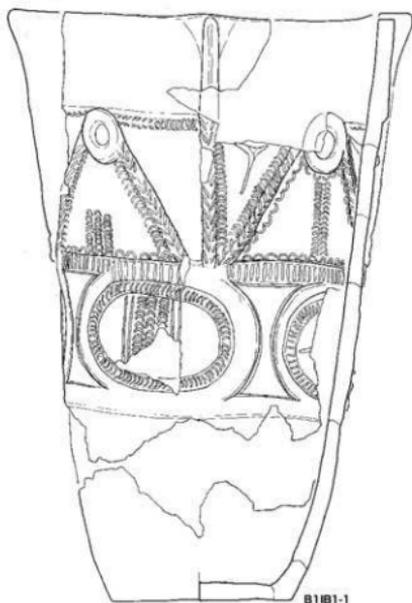
第 18 圖 遺構内出土遺物 (2)



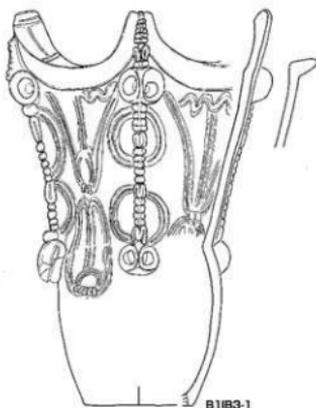
B1S07-1



B1PT1-1



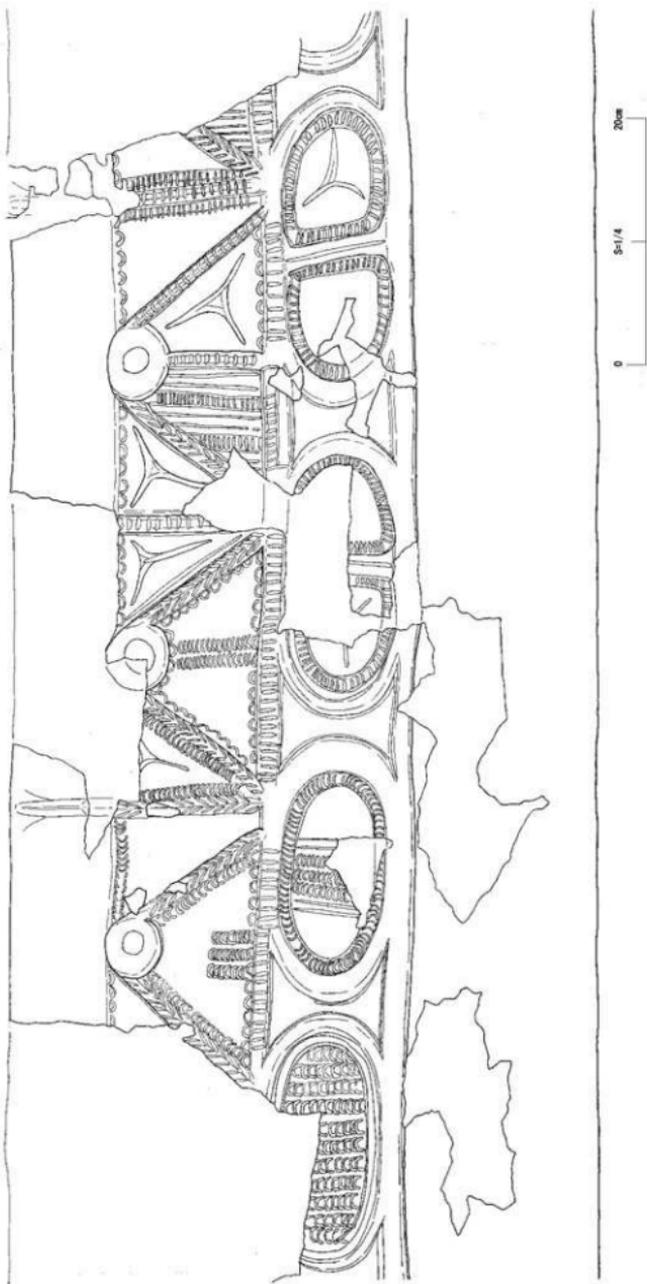
B1B1-1



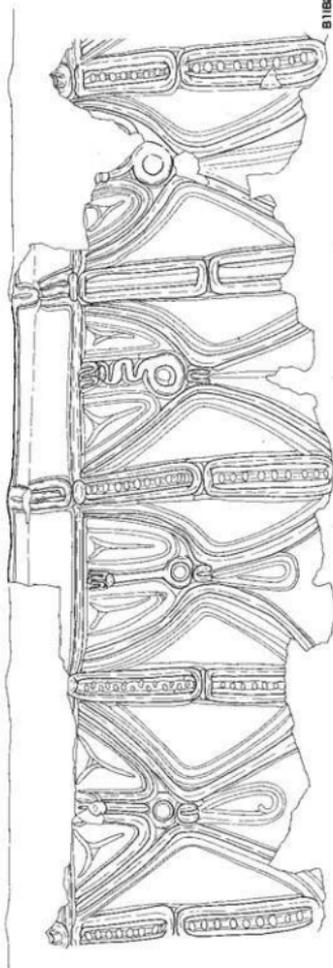
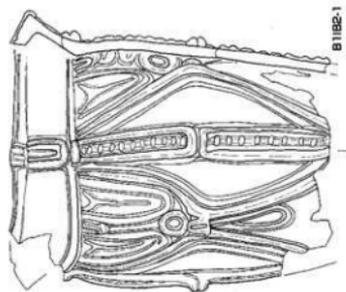
B1B3-1



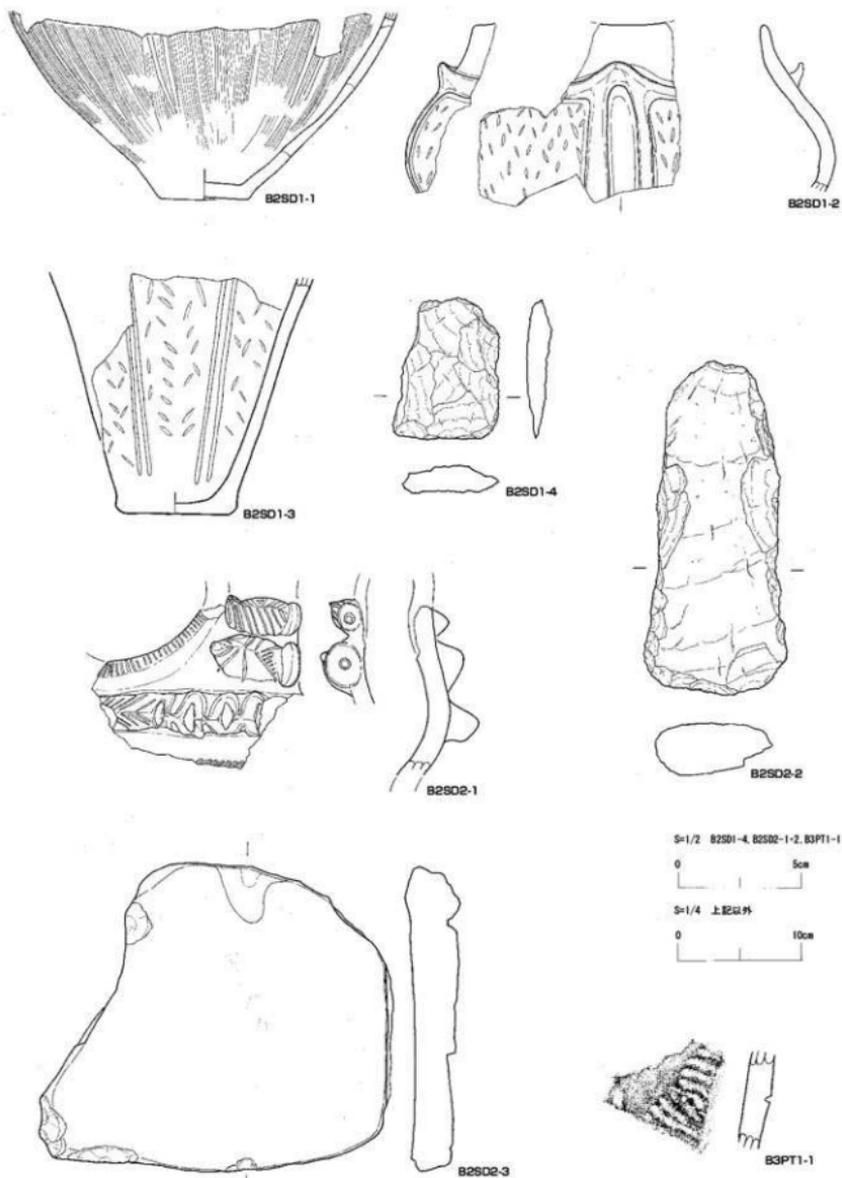
第 19 圖 遺構内出土遺物 (3)



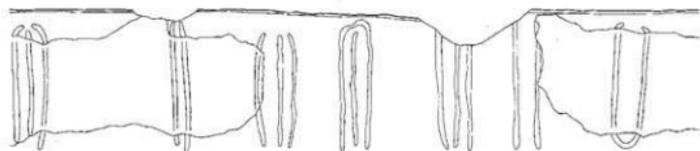
第 20 图 B1181-1 鞋回纹



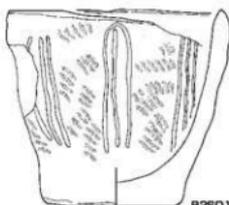
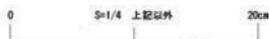
第 21 圖 遺構内出土遺物 (4)



第 22 図 遺構内出土遺物 (5)



S=1/2 B2SD13-1, B3SD1-1, B3SD2-1, C2SD3-2-3



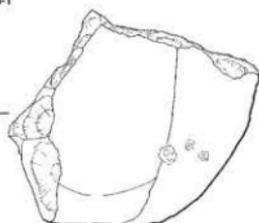
B2SD13-1



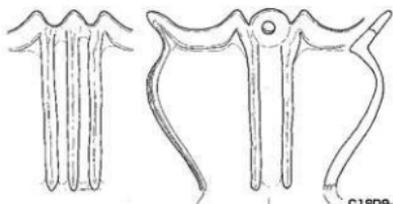
B3SD1-1



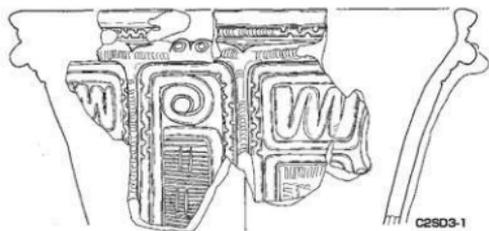
B3SD2-1



C1SD7-1



C1SD9-1



C2SD3-1

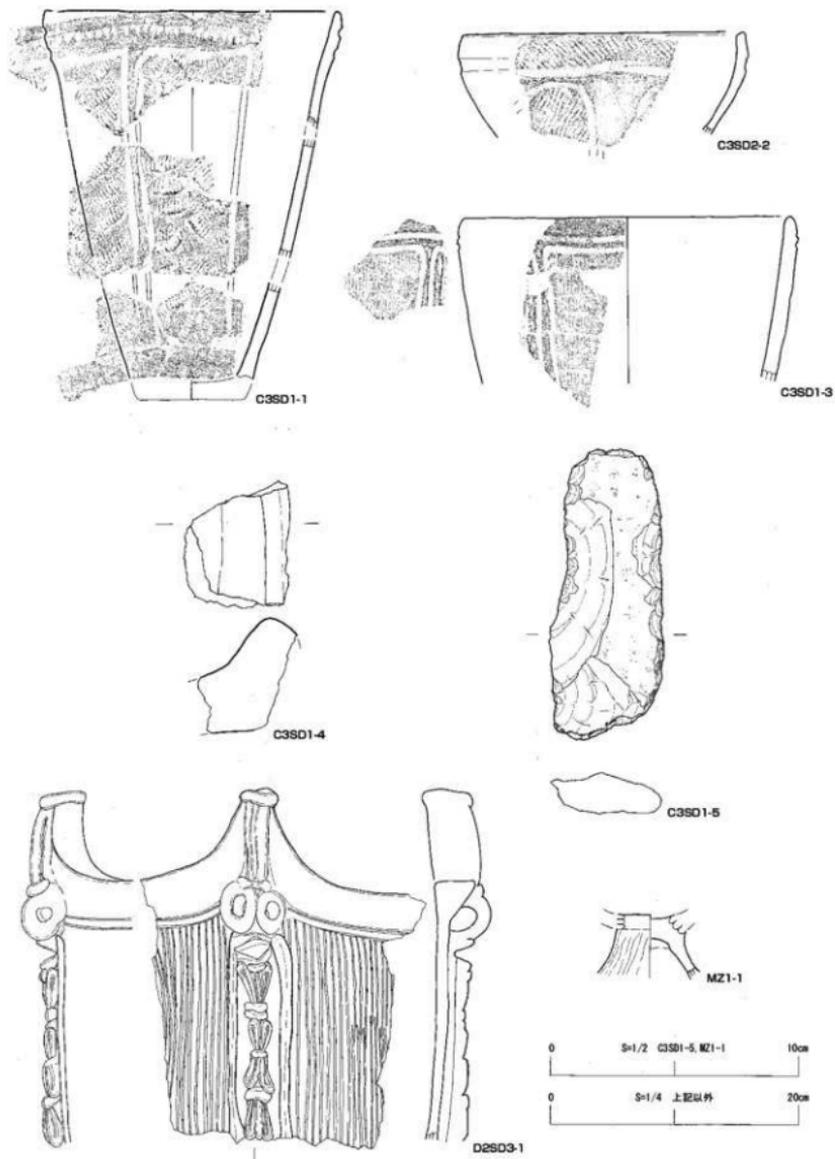


C2SD3-2

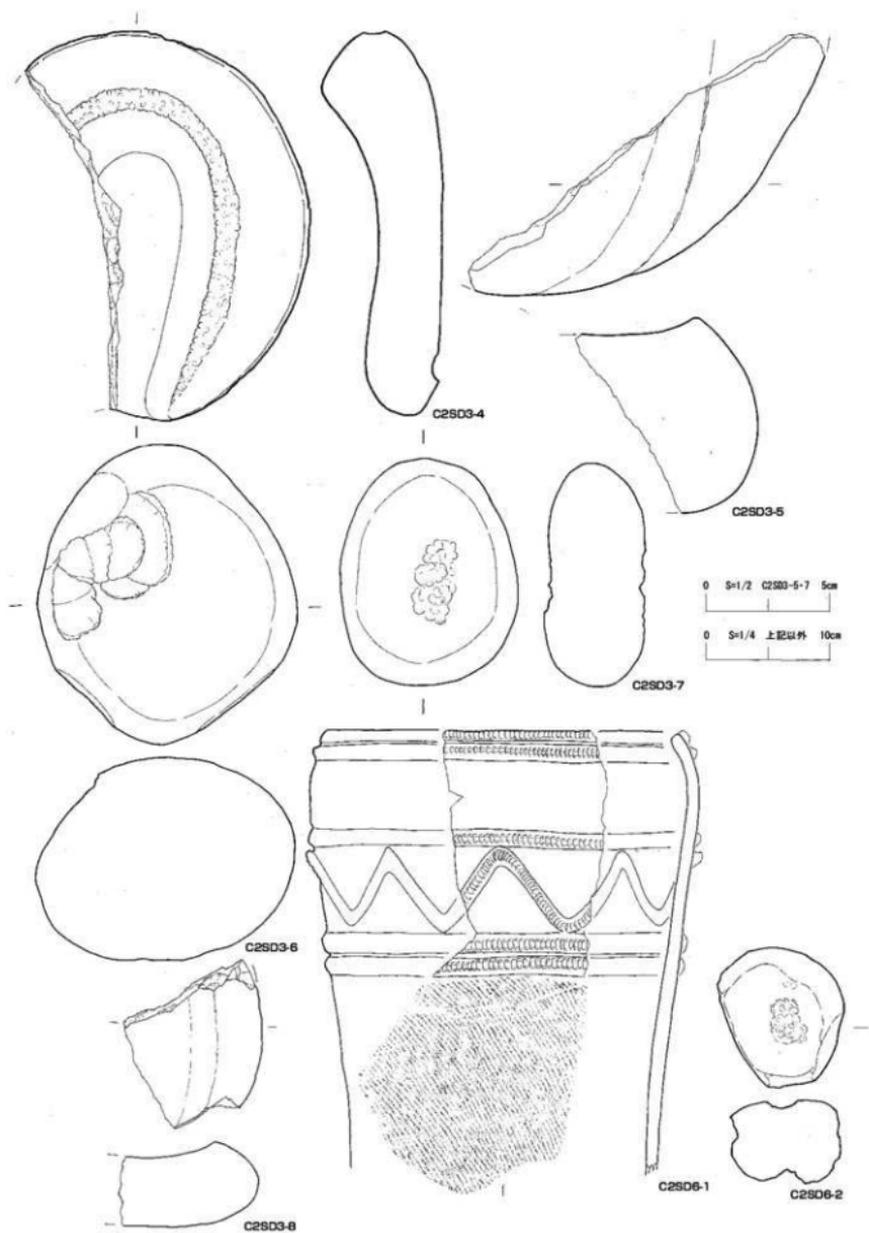


C2SD3-3

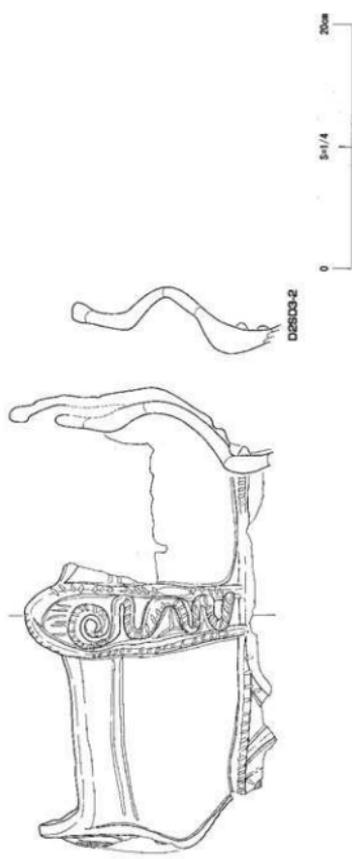
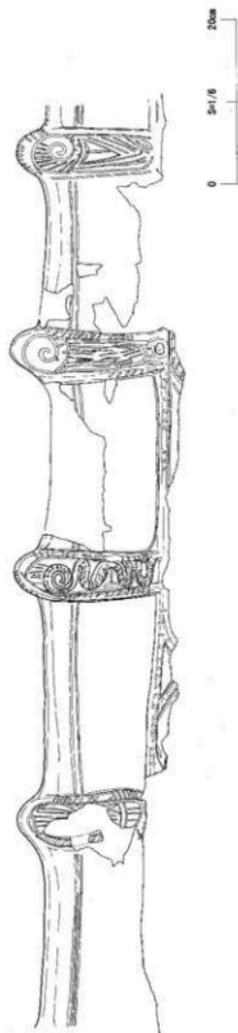
第 23 圖 遺構内出土遺物 (6)



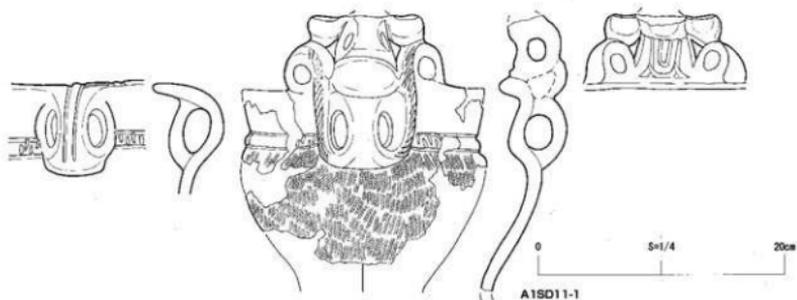
第 24 図 遺構内出土遺物 (8)



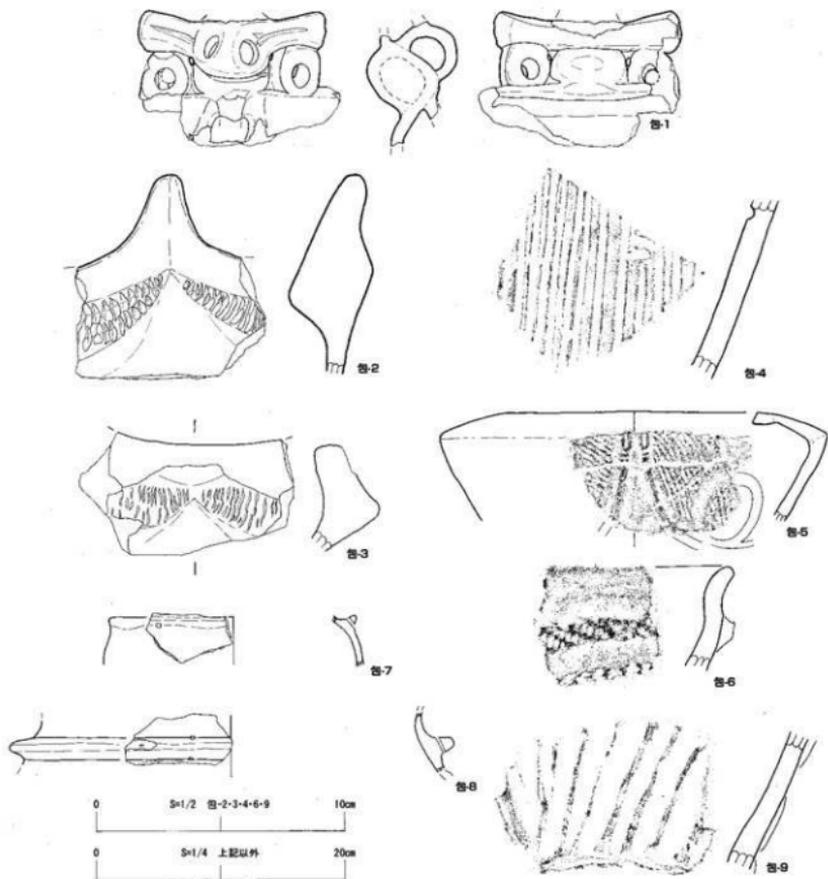
第 25 図 遺構内出土遺物 (7)



第 26 圖 遺構内出土遺物 (9)



第〇圖 遺構内出土遺物 (10)

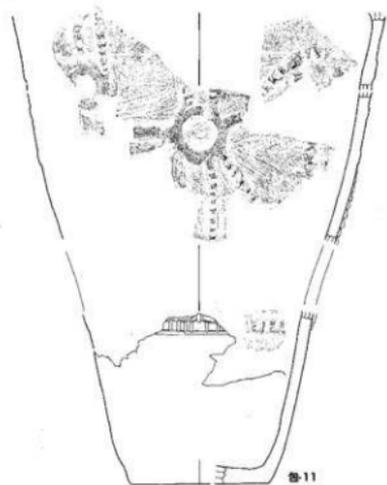


第 27 圖 遺構外出土遺物 (1)

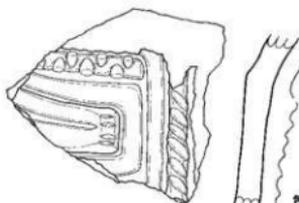
S=1/2 包-12-13-14-15-16
 0 5cm
 S=1/4 上記以外
 0 10cm



包-10



包-11



包-12



包-13



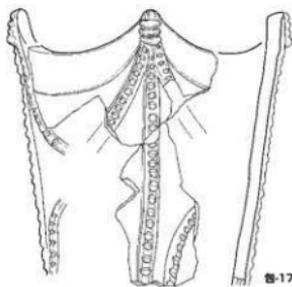
包-14



包-15

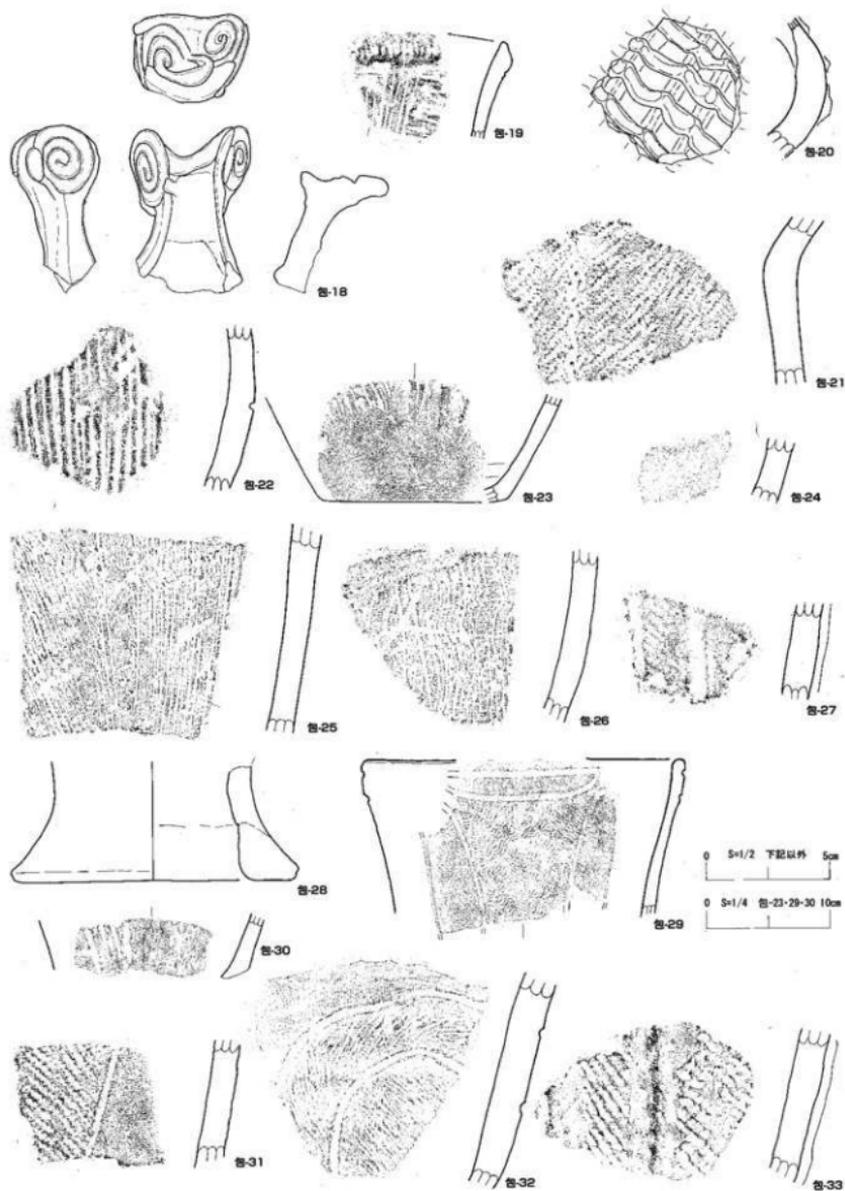


包-16

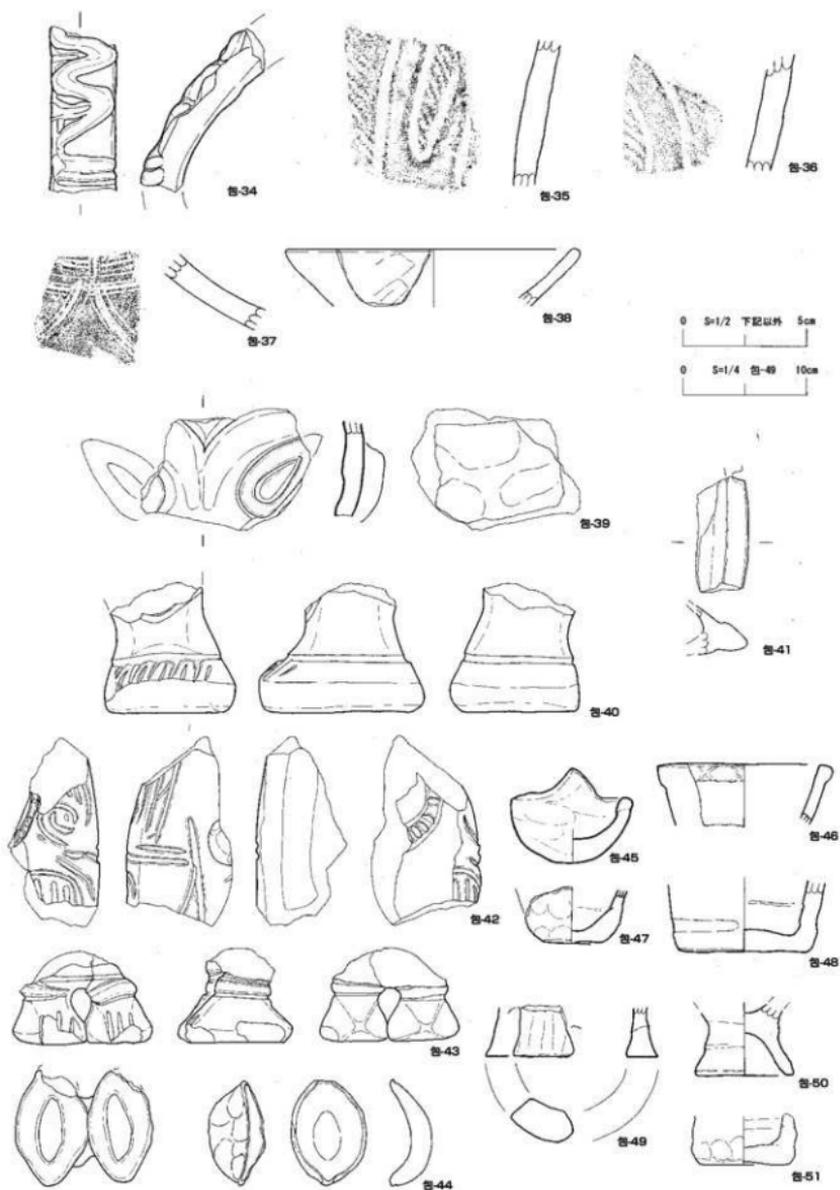


包-17

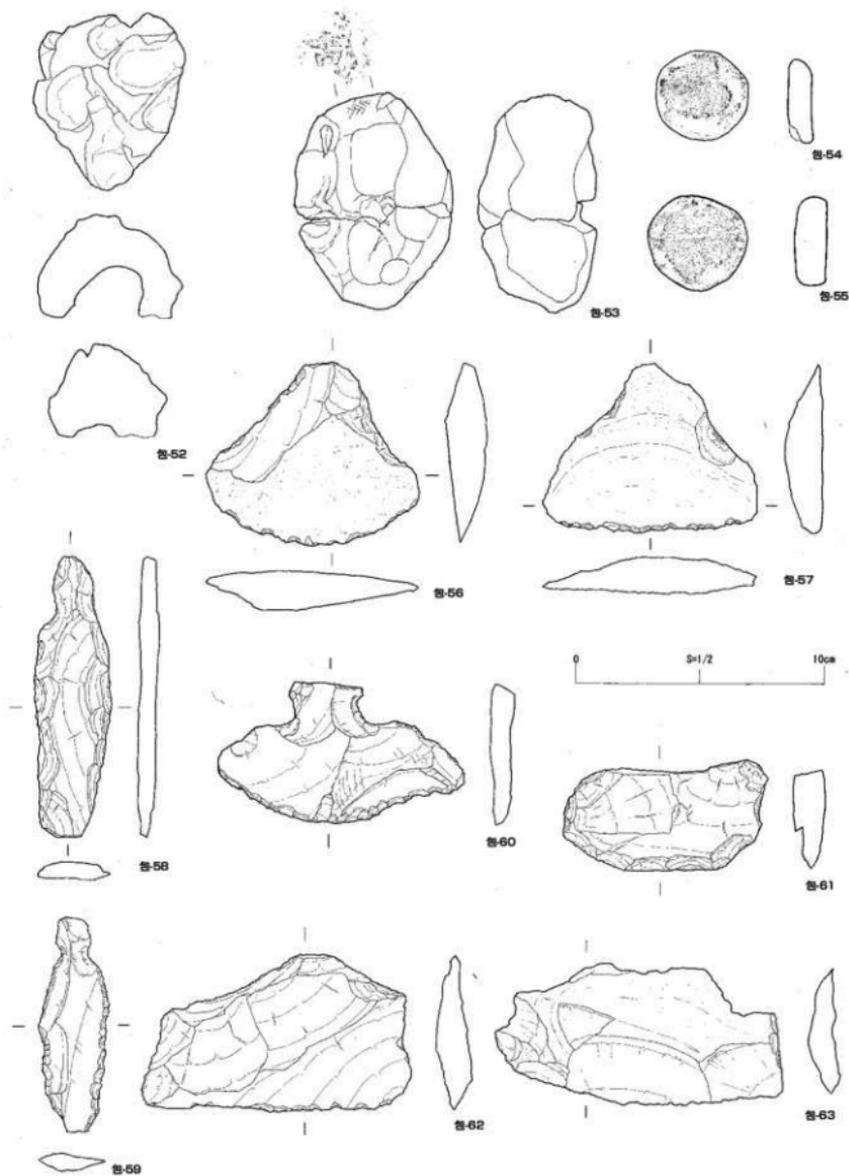
第28圖 遺構外出土遺物(2)



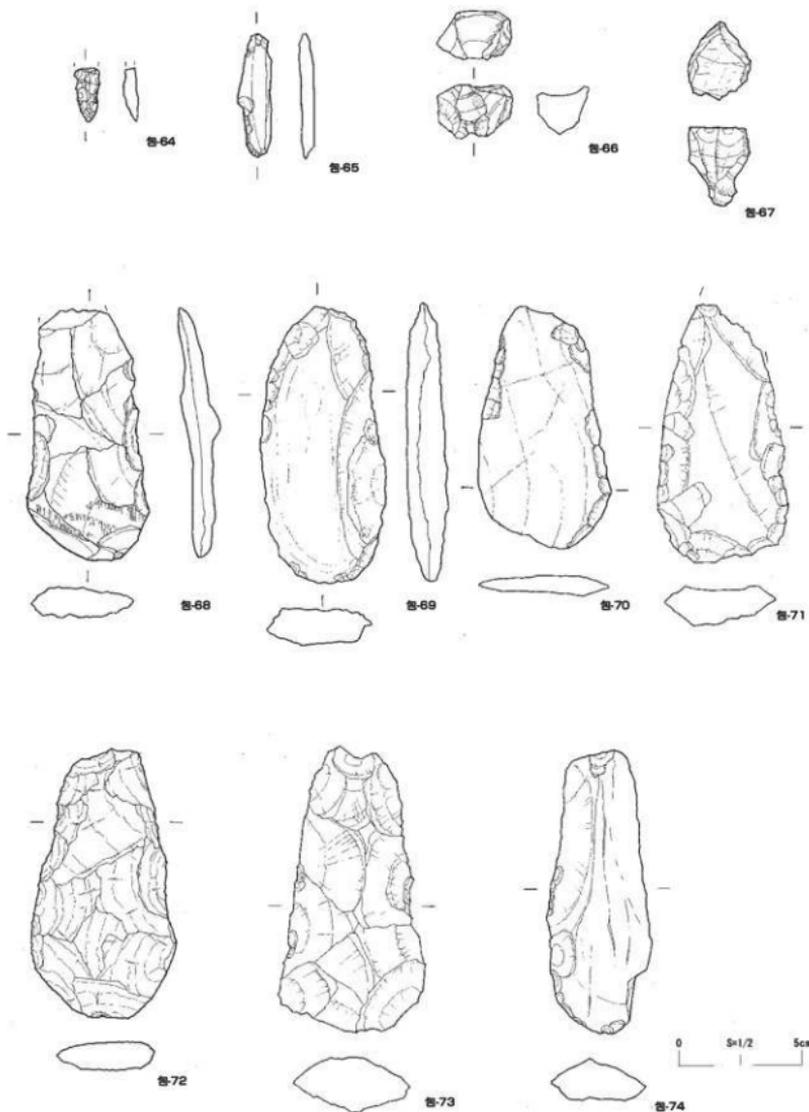
第 29 圖 遺構外出土遺物 (3)



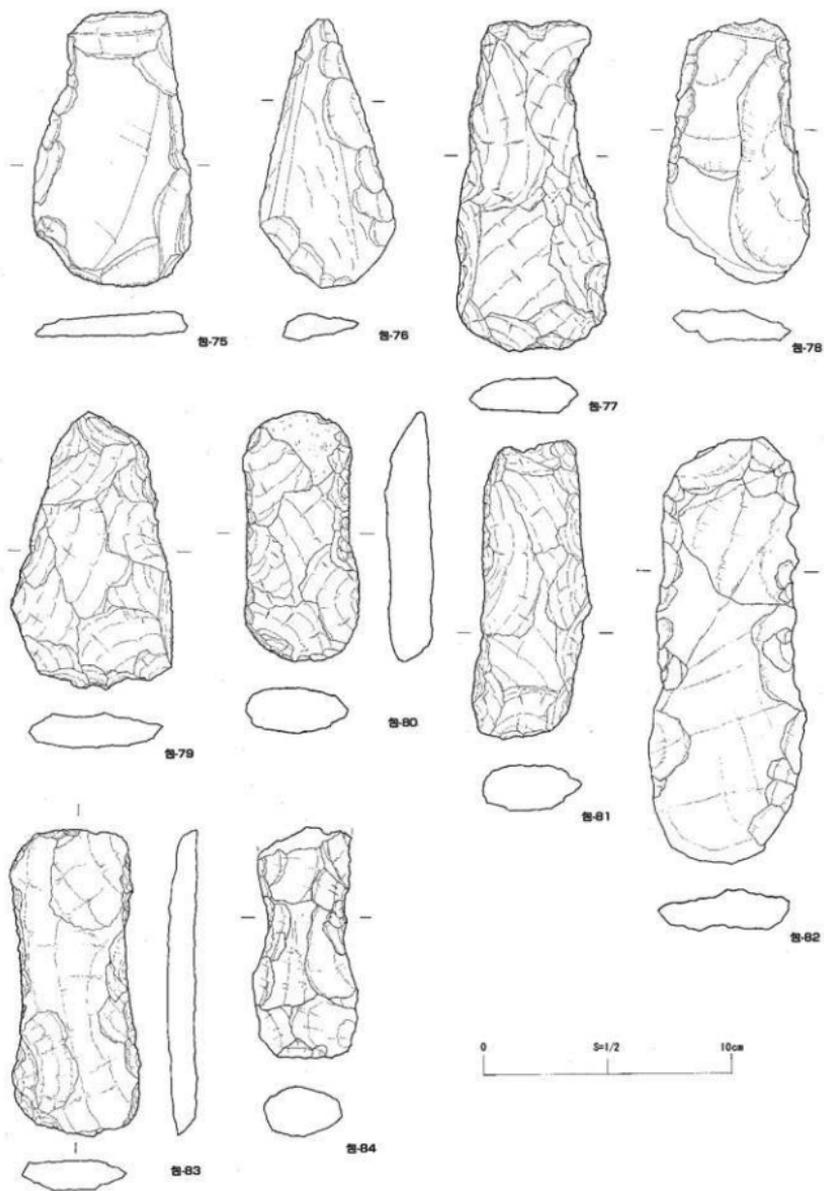
第 30 圖 遺構外出土遺物 (4)



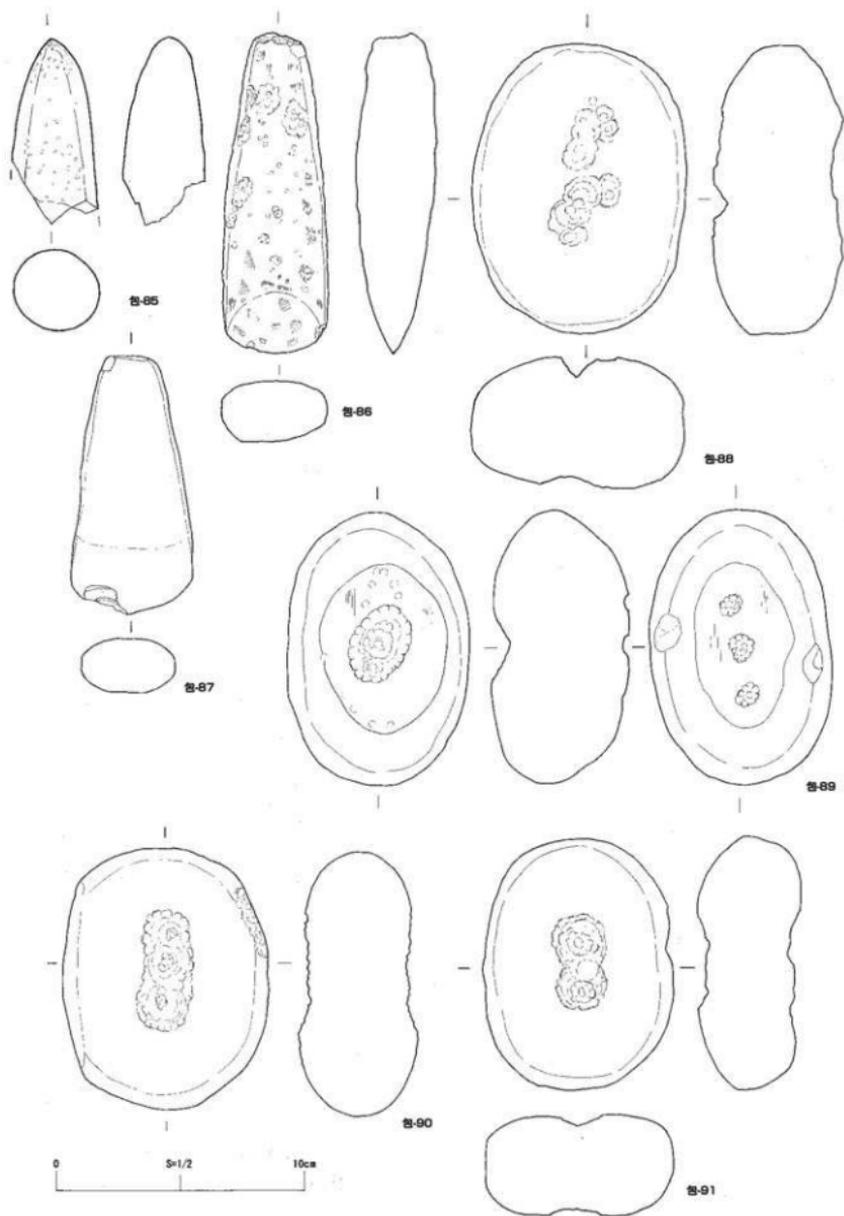
第31圖 遺構外出土遺物(5)



第 32 圖 遺構外出土遺物 (6)



第 33 圖 遺構外出土遺物 (7)



第 34 圖 遺構外出土遺物 (8)

第2章 榎田遺跡

(藤井町北下條字榎田 80-1 地点)

第1節 調査の経緯と経過

調査地点である藤井町北下條 80-1 地点は周知の埋蔵文化財包蔵地である榎田遺跡の範囲に位置する。本地点にて、個人住宅建設の計画があり、令和2年度に蒲崎市教育委員会（以下市教委）へ文化財保護法第93条に係る届出があった。市教委では、周辺の周知の埋蔵文化財包蔵地内で多くの埋蔵文化財が確認されており、同時に本調査も多数行われている地点であることから、有無確認調査が必要であることを意見として山梨県観光文化・スポーツ部に経由進達を行った。その後山梨県から試掘調査の指示が事業者へあり、市教委では事業者との協議を行い、試掘調査を実施した。その結果、開発予定地内に遺構・遺物が検出された。

市教委と事業者との協議の結果、遺跡の破壊を免れない擁壁部分については、記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなった。発掘調査は令和3年度に実施し、その後令和4年度から7年度にかけて出土品等の整理作業及び報告書刊行業務を行った。

今回の調査は、個人住宅建設地内の内擁壁部分の150㎡を対象とした。なお、調査の便宜上約10m四方のグリッドを設置した。グリッド名はアルファベットでA～Lまでとなっており、出土遺物のアルファベットA～Lはこのグリッドと対応している。また出土遺物の1段目は層序のIV層を指し、2段目はV層を指している。

第2節 遺跡の位置と環境

榎田遺跡は、藤井平の南東部、標高約375mに位置する（第1図・第2図）。本遺跡の西側は黒沢川を越えて七里岩台地がそびえ、東側に北下條遺跡、北側に三宮地遺跡と後田第2遺跡がある。北下條遺跡では、弥生時代、奈良・平安時代の住居跡が確認されている。三宮地遺跡では、縄文時代、弥生時代、平安時代の遺構が確認されている。後田第2遺跡では、縄文時代、弥生時代、古墳時代の遺構が確認されている。本調査地点は縄文時代

～古代にかけて幅広い時代で集落が形成された土地であり、遺跡の西側は黒沢川が南北に流れており、水利に適した場所である。

第3節 遺構と遺物

1号溝状遺構（MZ1）

調査区の南端から検出した。南北へ長さ約3m、幅約1mの溝状の遺構である。深さは約1mで傾斜は緩く、2号溝状遺構（MZ2）を南北へ削るような状態でなだらかに南側へ流れていっている。

遺構内からは縄文土器等が検出されたが、2号溝状遺構の新田関係では新しい遺構であると考えられ、出土遺物もMZ2に伴う物と考えられる。

2号溝状遺構（MZ2）

調査区の南側で、礫面を掘削した後から検出した。東西への長さ約120m、幅約70cmで北側にやや半円状のかたちで検出し、東西の端は調査区外に延びていると考えられる。

遺構の全容及び性格は不明であるが、遺構内からは堀之内式の深鉢（K-2、K-5、K-6）や注口土器（K-7）、後期の深鉢（K-8）、曾利式前半の深鉢（K-17）等が検出されている。

K-2の深鉢は口縁部で、内部は強い横撫で、外部は細い横沈線文が刻まれている。K-5の深鉢は胴部で外部に集合沈線が刻まれている。K-6の深鉢は口縁部で、小波状口縁で外に撫でがある。K-7の注口土器は、胴部から底部であり、胴部の外は沈線文があり、底部には網代痕が確認出来る。縄文時代後期と考えられるK-8は、深鉢の底部で網代痕が確認出来る。K-17は、曾利式前半の深鉢の胴部であり、外に隆線上に刻みがあり、押し引き三叉文と考えられる文様が確認出来る。

1号住居跡（Ju1）

調査区の南東端から検出された。検出箇所は遺構の南側のみであり、残りは調査区外の北側へ延びていると考えられる。中心に大型の礫を敷き詰めてあり、西側半分は、細長い礫が円を描くように並べられている。中心の礫は平らに加工されており、人工的な空間の様相を呈している。

遺構外出土遺物

本調査で出土遺物した遺物のほとんどが、遺構外となっている状態であった。その礎を中心に礎の上層部（IV層）、礎層部（V層）、礎下層（VI層）から多くの遺物が検出された。以下グリッドごとに主だった遺物を報告する。

Aグリッド

調査区の最北端に位置する。IV層から曾利式後半の深鉢の口縁部（A-1）、VI層から堀之内式の深鉢の口縁部（A-2）で外に沈線、刺突文が確認でき、内部に沈線、横撫での痕跡が確認出来る。

Bグリッド

主な遺物として曾利式前半の深鉢の胴部が2点（B-1）・（B-2）、堀之内式の注口土器の胴部（B-3）、弥生時代の壺の口縁部（B-4）が検出されている。B-2の胴部は外部に隆線上に半竹内皮による沈雨垂列点文が確認出来る。B-3の堀之内式の注口土器胴部には、外部に櫛歯状工具沈線文が確認出来る。

Cグリッド

Cグリッドからは、称名寺式、弥生、古墳、中世といった幅広い時代の遺物が検出された。称名寺式の遺物は、深鉢の胴部（C-6）、弥生時代の遺物は、壺の胴部から底部（C-2）、肩から胴部（C-5）であり、C-5の遺物は、内外に刷毛調整痕があり、外には櫛歯文が確認出来る。古墳時代の遺物は、高坏の脚部で外部に横刷毛目、脚部に3ヶ所穿孔が確認出来る（C-3）。

Dグリッド

主に弥生時代の壺の胴部（D-1）、弥生時代以降の甕の胴部（D-2）が検出されている。D-1の遺物には、内部に輪積痕、外部にヘラ撫での刷毛目調整の痕が確認出来る。

Eグリッド

主に弥生時代の壺（E-1）、曾利式後半の胴部（E-2）、打釜（E-3）、凹石（E-4）が検出されている。E-1の壺は、外の口縁部は櫛歯波状文、頭部は簾状文、肩部は櫛歯単線文が確認出来る。E-2は有孔鈔付土器と考えられる。

Fグリッド

Fグリッドからは、IV層から曾利式前半から後半にかけての深鉢、縄文中期後半と考えられる有孔鈔付土器の鈔等が検出されている。有孔鈔付土器（F-4）は鈔部分に穿孔が確認出来る。V層からは、勝坂式後半から称名寺式の深鉢、曾利式後半の有孔鈔付土器に加えて、弥生時代以降の甕等も検出されている。F-11の曾利式後半の深鉢の口縁部は、内が横撫で、外は半截竹管の沈線が確認出来る。F-14の甕は胴部で、外部に棒状工具による横刷毛目痕が確認出来る。VI層からは、曾利式前半から後半の深鉢、縄文中期から後期にかけてのミニチュア土器（F-20）、土製円盤（F-21）、古銭等が検出されている。古銭は明代の永楽通宝であることが確認出来る。

Gグリッド

Gグリッドからは、IV層から縄文中期から後期にかけての土製円盤が2点検出されている（G-4）・（G-5）。V層からは、勝坂式後半から曾利式後半の深鉢が中心に検出されている。また堀之内式の注口土器の注口部分（G-18）も検出されており、表面が丁寧なヘラで撫でられている。VI層からは、堀之内式や勝坂式後半の深鉢土器が検出されている。また遺物が収集する箇所があり、そこでは主に網代痕が確認出来る深鉢底部（G-3）や曾利式後半の深鉢底部（G-16）等が検出されている。G-16は外部に蛇行沈線が確認出来る。

Hグリッド

IV層からV層にかけては他のグリッド同様に深鉢や注口土器が検出されている。その他にVI層からは、石棒が3点検出された。いずれも石材は安山岩である。

Iグリッド

IV層からは加曾利B式の深鉢の口縁部等（I-4）が検出されており、口縁部に刻みが確認出来る。V層からは曾利式後半の深鉢胴部（I-6）、縄文中期から後期のミニチュア土器の底部（I-7）、弥生時代の高坏の脚部（I-8）が検出されている。勝坂式後半、称名寺式、加曾利B式、縄文後期の深鉢はいずれも口縁部である。また縄文中期から後期の土製円

盤 (I-11) が検出されている。

J グリッド

J グリッドからは、V 層からは曾利式後半、加曾利 B 式の鉢類の口縁部が検出されている。J-8 の加曾利 B 式の深鉢口縁部には口唇部に刻みがあり、内外に横方向沈線文が確認出来る。J-10 の深鉢口縁部には口縁部の内部に横沈線があり、外部に隆線上に押圧文が確認出来る。VI 層からは、堀之内式、加曾利 B 式、縄文後期の深鉢等が検出されている。また縄文中期から後期のミニチュア土器 (J-14) や土製円盤 (J-15) 等も検出された他、北宋期の波来銭である政和通宝が検出されている。

K グリッド

K グリッドでは、V 層で勝坂式後半、曾利式後半、称名寺式の深鉢が検出された。VI 層からは、堀之内式、称名寺式、曾利式後半の遺物の他、曾利式終末の深鉢の胴部 (K-19) や縄文中期から後期の土製円盤 (K-23) が検出されている。また安山岩製のたたき石も確認されている。

L グリッド

L グリッドからは、堀之内式の注口土器や縄文後期の深鉢、中期から後期のミニチュア土器等が検出されている。また縄文晩期の注口土器の肩部が検出されており、外部は丁寧な磨かれていて沈線文が確認出来る。

まとめ

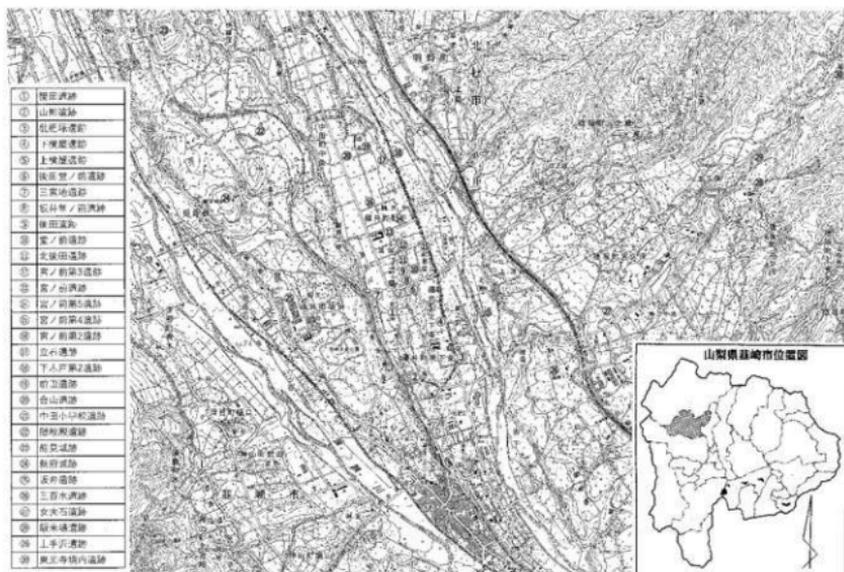
本調査は、個人住宅建設地の内擁壁部分のみの調査であり、遺跡の全容は解明出来なかったが、概ね縄文時代中期から後期にかけての遺物が多く確認されており、本遺跡地内が縄文時代を中心とした地域であったことが窺えるが、その一方で少量ではあるが弥生時代・古墳時代・中世の時代の遺物も検出されたいことから、幅広い時代で土地利用が行われていた地域であったことが窺える。

第三編 臺灣出土古物種類彙編

編號	器物名稱	年代	類別	用途	出處	登錄(內)	登錄(外)	出土	位置	重要	備考
11-1	A-1	K-56	石	陶器	口部	口部	口部	口部	口部		
11-2	B-2	K-1	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-3	B-1	K-46	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-4	B-2	K-50	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-5	B-3	K-110	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-6	B-4	K-100	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-7	C-1	K-105	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-8	C-2	K-2	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-9	C-3	K-2	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-10	C-4	K-88	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-11	C-5	K-101	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-12	C-6	K-57	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-13	C-7	K-194	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-14	D-1	K-45	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-15	D-2	K-105	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-16	E-1	K-81	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-17	E-2	K-58	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-18	E-3	K-81	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-19	E-4	K-128	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-20	F-1	K-46	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-21	F-2	K-47	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-22	F-3	K-60	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-23	F-4	K-88	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-24	F-5	K-81	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-25	F-6	K-9	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-26	F-7	K-7	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-27	F-8	K-29	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-28	F-9	K-61	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-29	F-10	K-62	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-30	F-11	K-63	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-31	F-12	K-60	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-32	F-13	K-62	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-33	F-14	K-196	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-34	F-15	K-107	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-35	F-16	K-49	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-36	F-17	K-58	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-37	F-18	K-64	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-38	F-19	K-65	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-39	F-20	K-90	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-40	F-21	K-91	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-41	F-22	K-6	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-42	G-1	K-12	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-43	G-2	K-13	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-44	G-3	K-10	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-45	G-4	K-92	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-46	G-5	K-92	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-47	G-6	K-40	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-48	G-7	K-42	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-49	G-8	K-51	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-50	G-9	K-52	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-51	G-10	K-53	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-52	G-11	K-66	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-53	G-12	K-69	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-54	G-13	K-68	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-55	G-14	K-67	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-56	G-15	K-70	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-57	G-16	K-71	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-58	G-17	K-83	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-59	G-18	K-112	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-60	H-18	K-41	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-61	H-19	K-43	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-62	H-1	K-54	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-63	H-2	K-71	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-64	H-3	K-22	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-65	H-4	K-22	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-66	H-5	K-111	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-67	H-6	K-137	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-68	H-7	K-130	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-69	H-8	K-136	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-70	H-9	K-138	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-71	H-10	K-243	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-72	H-11	K-242	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-73	H-12	K-25	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		
11-74	H-13	K-113	石	陶器	瓶口	口部	口部	口部	口部		

第4表 榎田遺跡土層説明

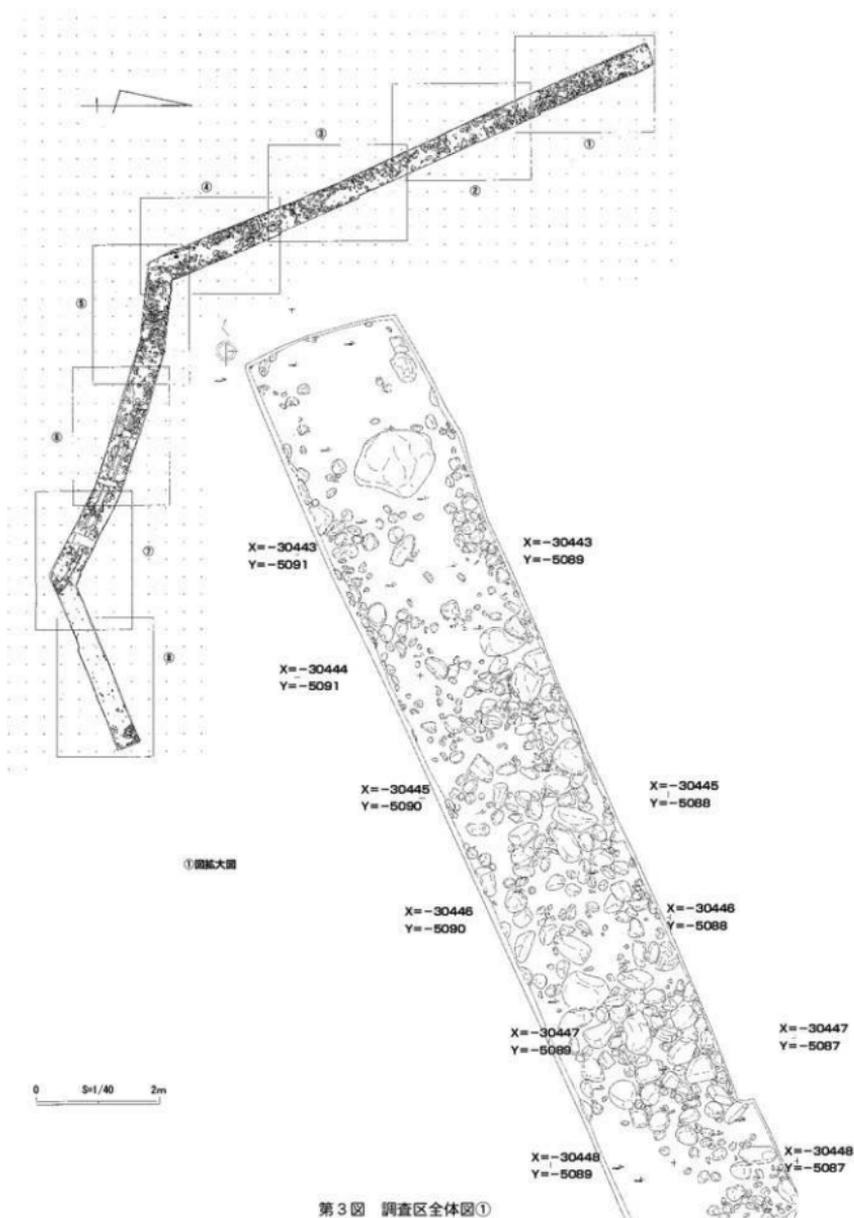
図No.	遺構名	層No.	層土	土壌内容
1	Cグリッド西壁	I	耕作土	
		II	耕作土床土	
		III	にぶい黄褐色土	しまり弱 灰色に斑状に黄褐色が混ざる
		IV	褐灰色土	砂利・小石若干含む 鉄分微量に含む
		V	褐灰色土	砂利・粘土が混ざる 粘性強
		VI	褐灰色土	砂質 粘性弱
		VII	黒色土	砂質 粘土混じり 粘性強 大型礫が入る
		VIII	黒褐色土	砂質 しまり弱 鉄分微量に含む
2	Hグリッド北壁	I	耕作土	
		II	旧耕作土	
		III	灰黄褐色土	鉄分微量に含む しまり強
		IV	黄褐色土	鉄分多く含む しまりやや弱
		V	褐色土	礫多く含む しまり弱 IV層の鉄分の成分が若干含まれる
		VI	黒褐色土	礫多く含む 砂質 しまり弱
3	MZ1南壁	I	耕作土	
		II	耕作土床土	
		III	にぶい黄褐色土	しまり弱 灰色に斑状に黄褐色が混ざる
		IV	にぶい黄褐色土	鉄分含む しまり弱
		V	褐灰色土	砂利・小石を含む 鉄分微量に含む
		VI	褐灰色土	石が混じる 粘性やや強
		VII	黒色土	礫が多く含む 砂質
		VIII	黒褐色土	砂利・石が全体的に含む 砂質
4	SS1北壁	I	耕作土	
		II	旧耕作土	
		III	黄褐色土	鉄分有り、小石やや含む しまり強
		IV	褐灰色土	黒と灰色が混ざる 粘性やや有り しまり強
		V	黒褐色土	砂利含む 粘性やや有り しまりやや今日
		VI	暗黄褐色土	集石面 砂質 砂利含む しまり弱



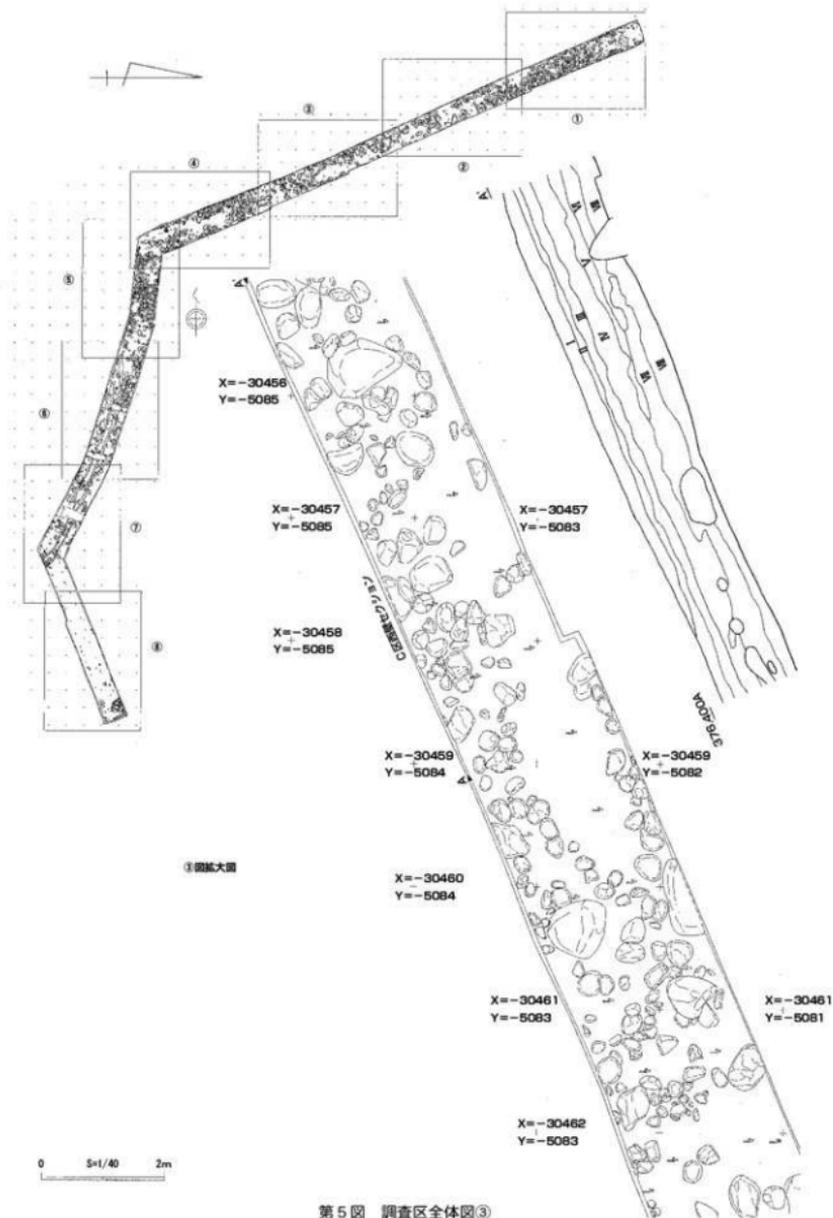
第1図 櫻田遺跡と周辺の遺跡 (S=1/50,000)



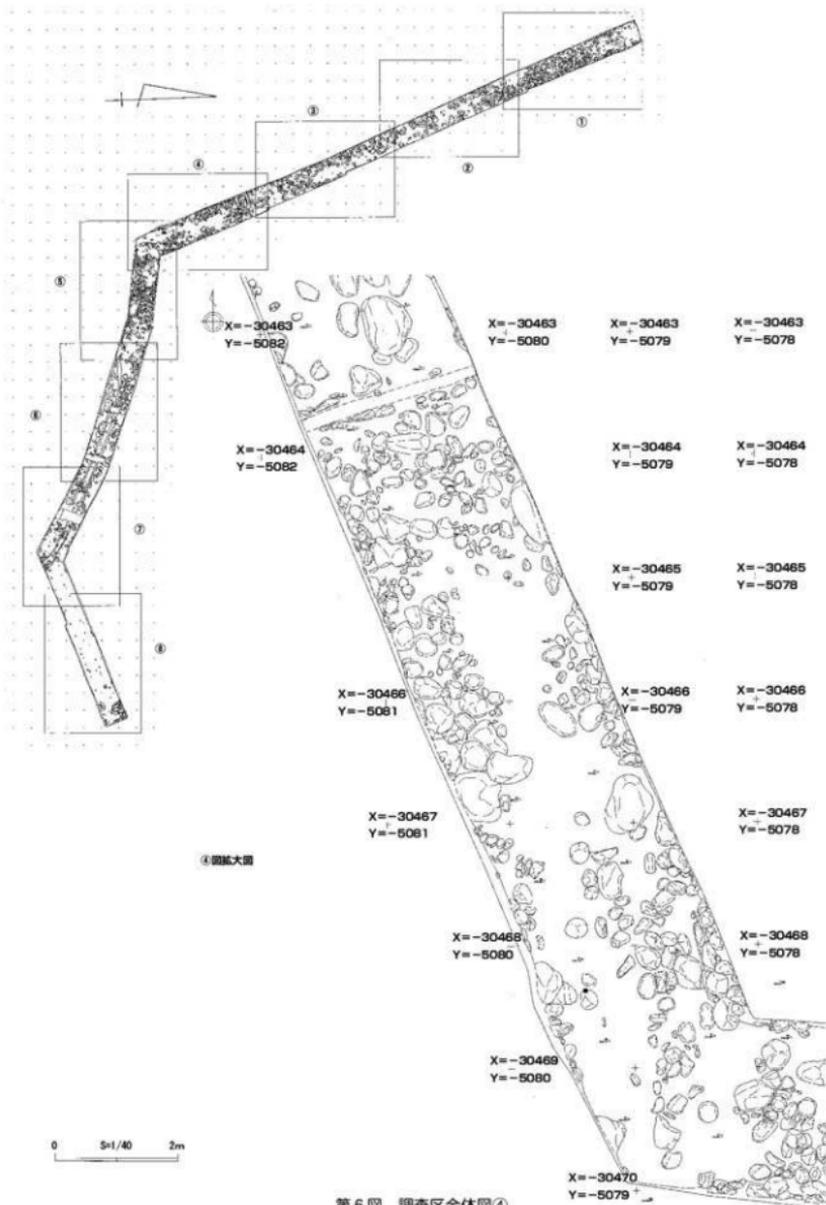
第2図 櫻田遺跡位置図 (S=1/5,000)

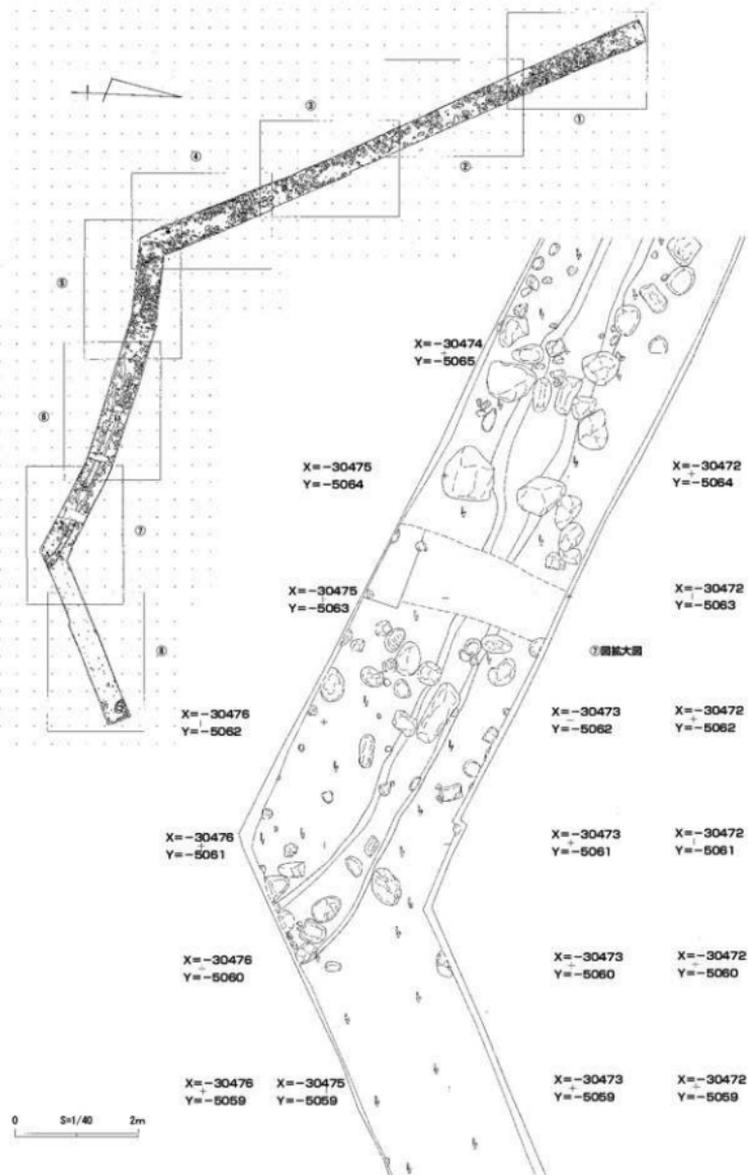


第3図 調査区全体図①

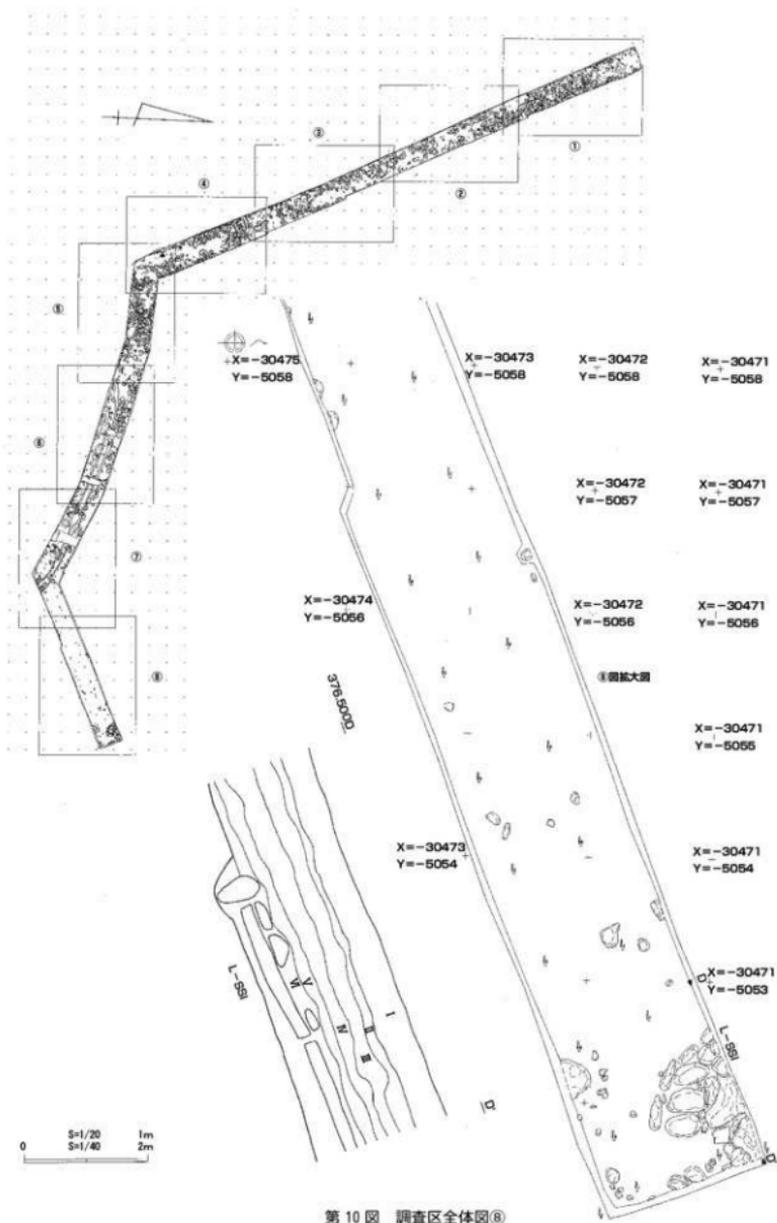


第5図 調査区全体図③

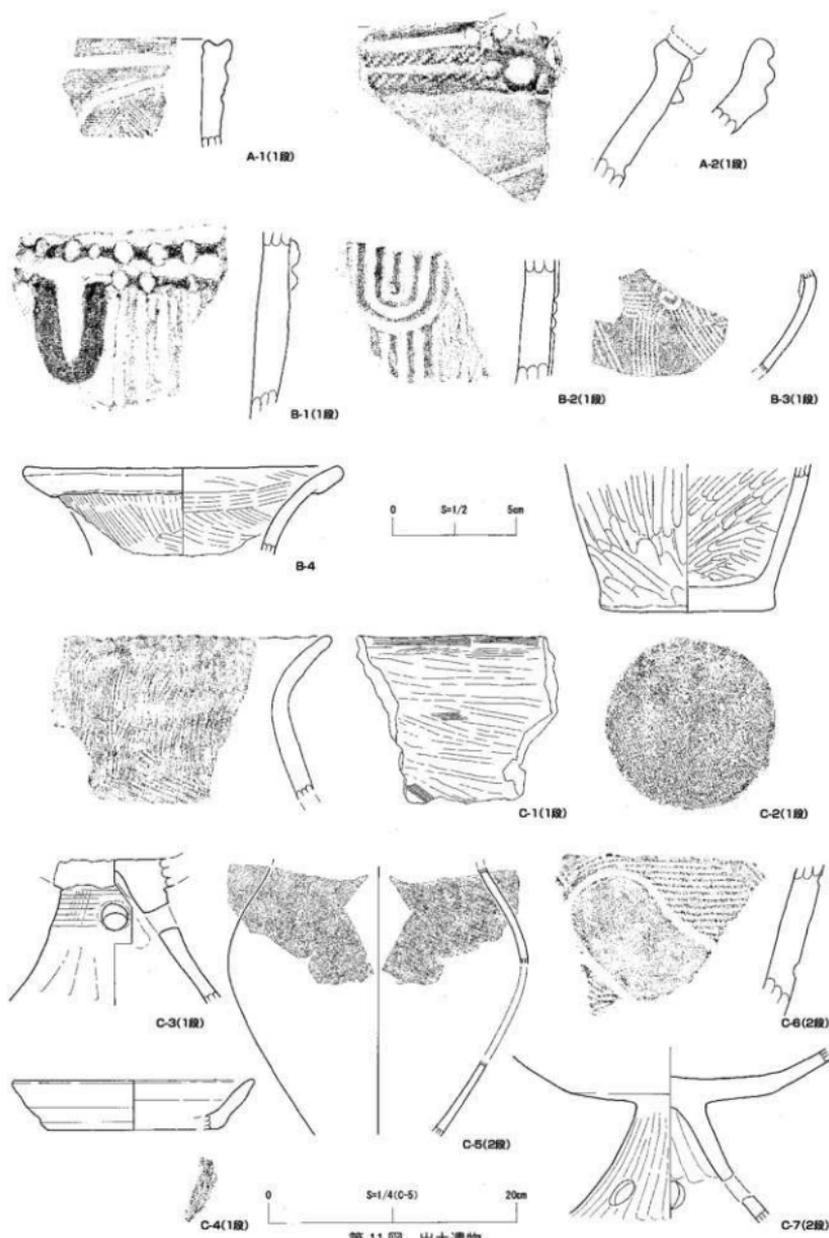




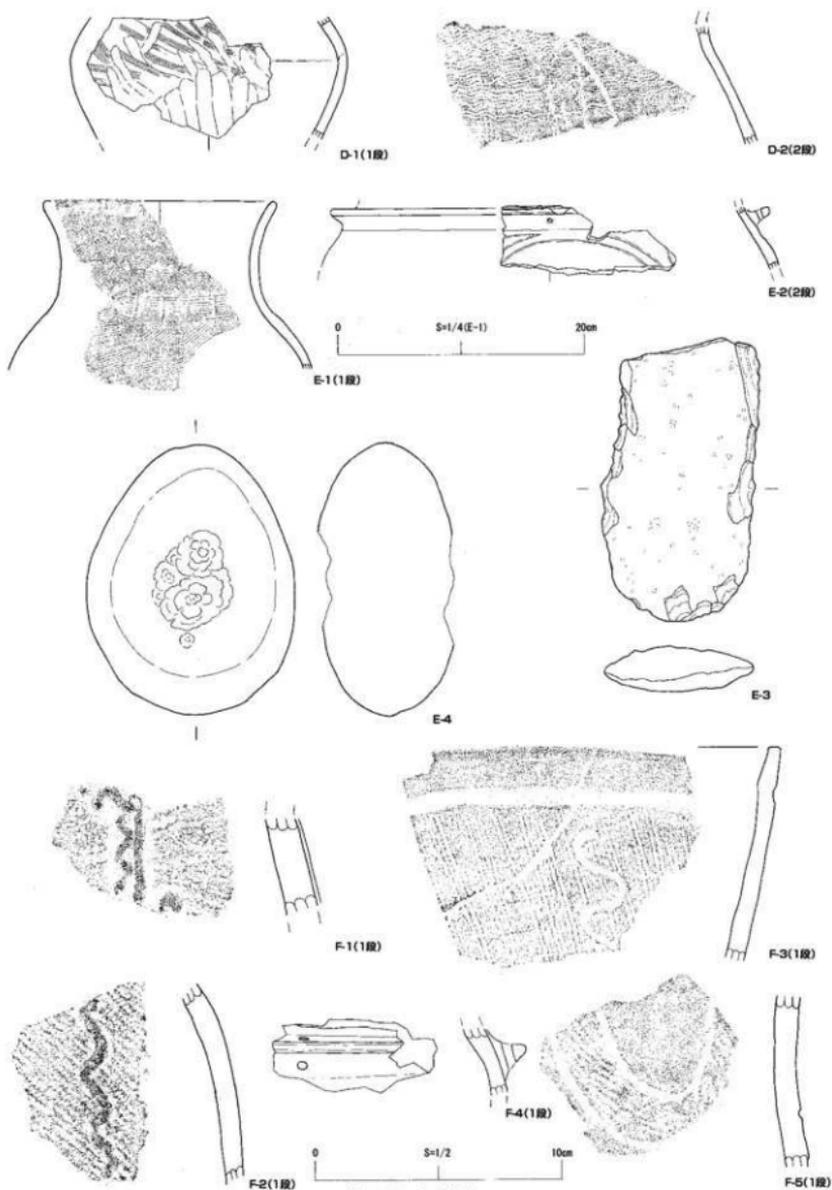
第9図 調査区全体図⑦



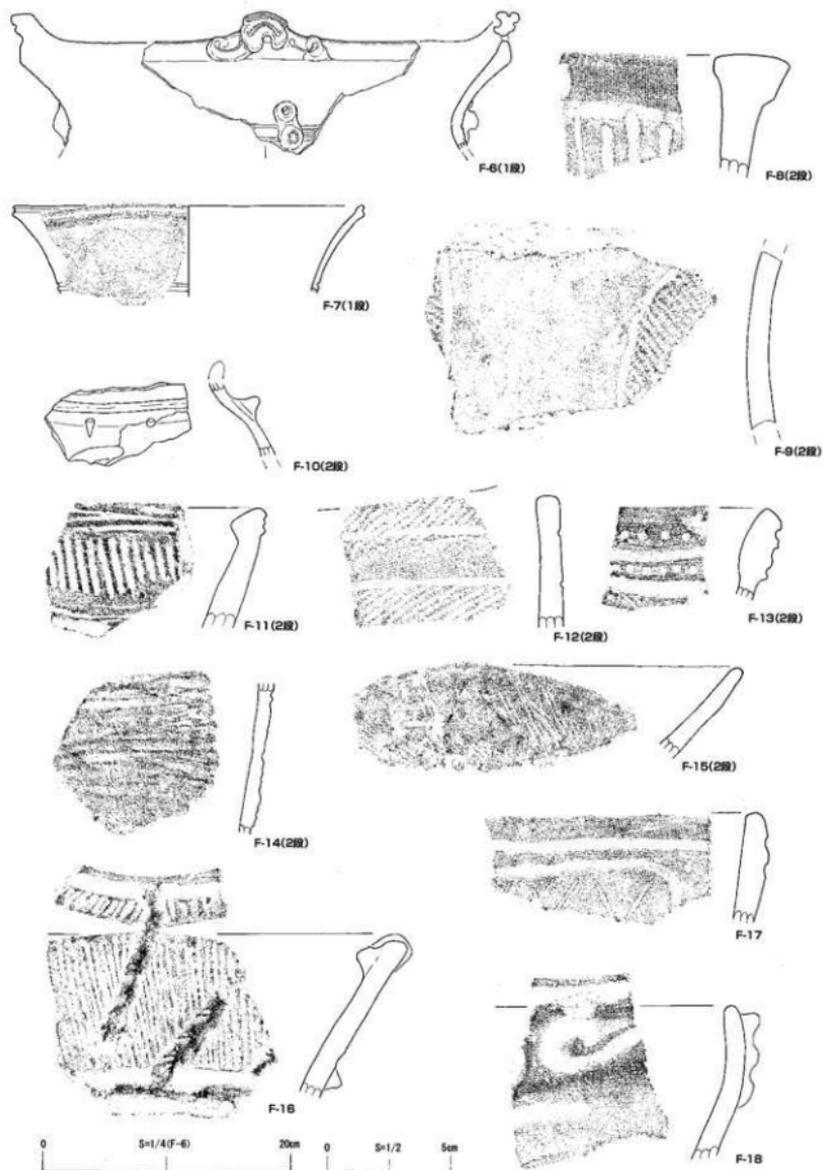
第 10 図 調査区全体図⑧



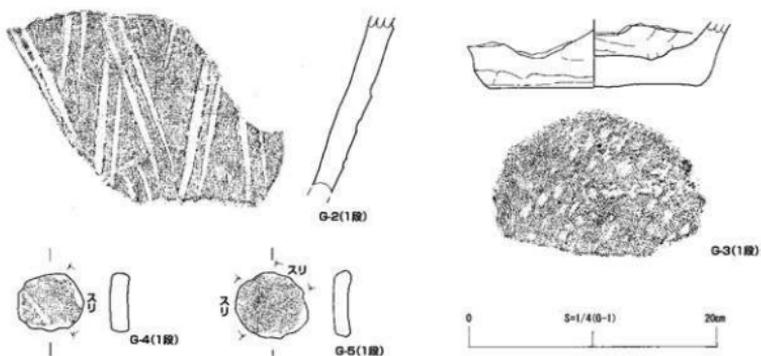
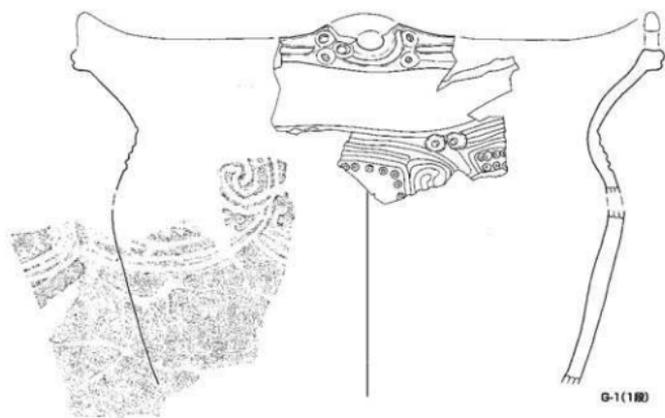
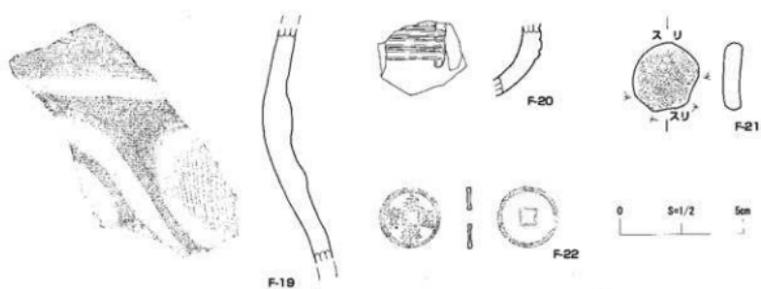
第 11 図 出土遺物



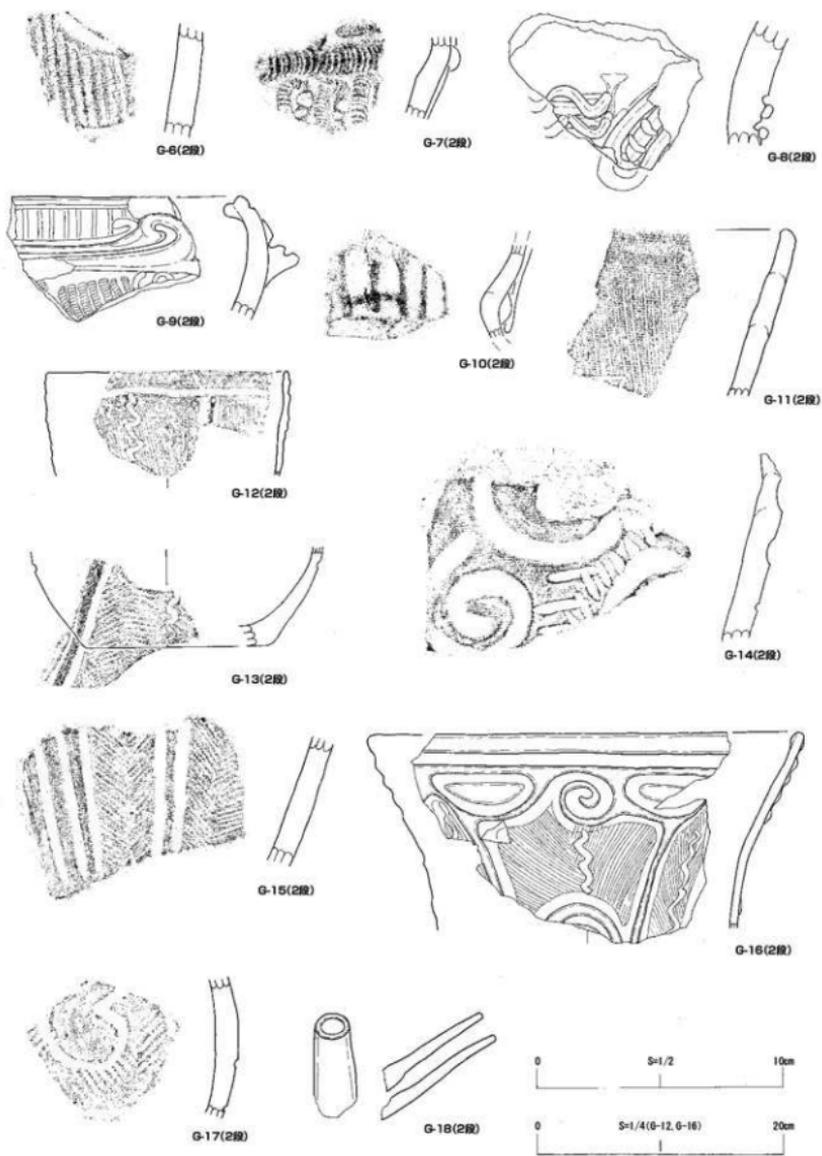
第 12 図 出土遺物



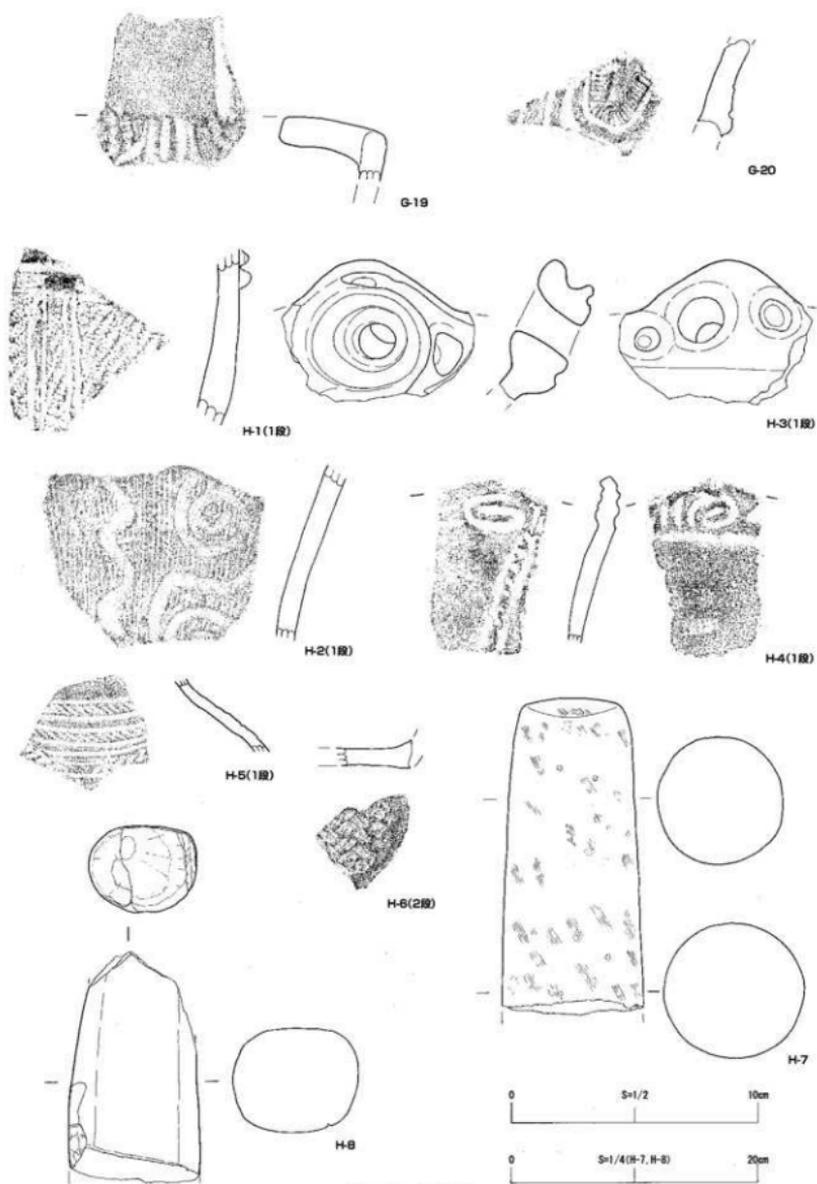
第13図 出土遺物



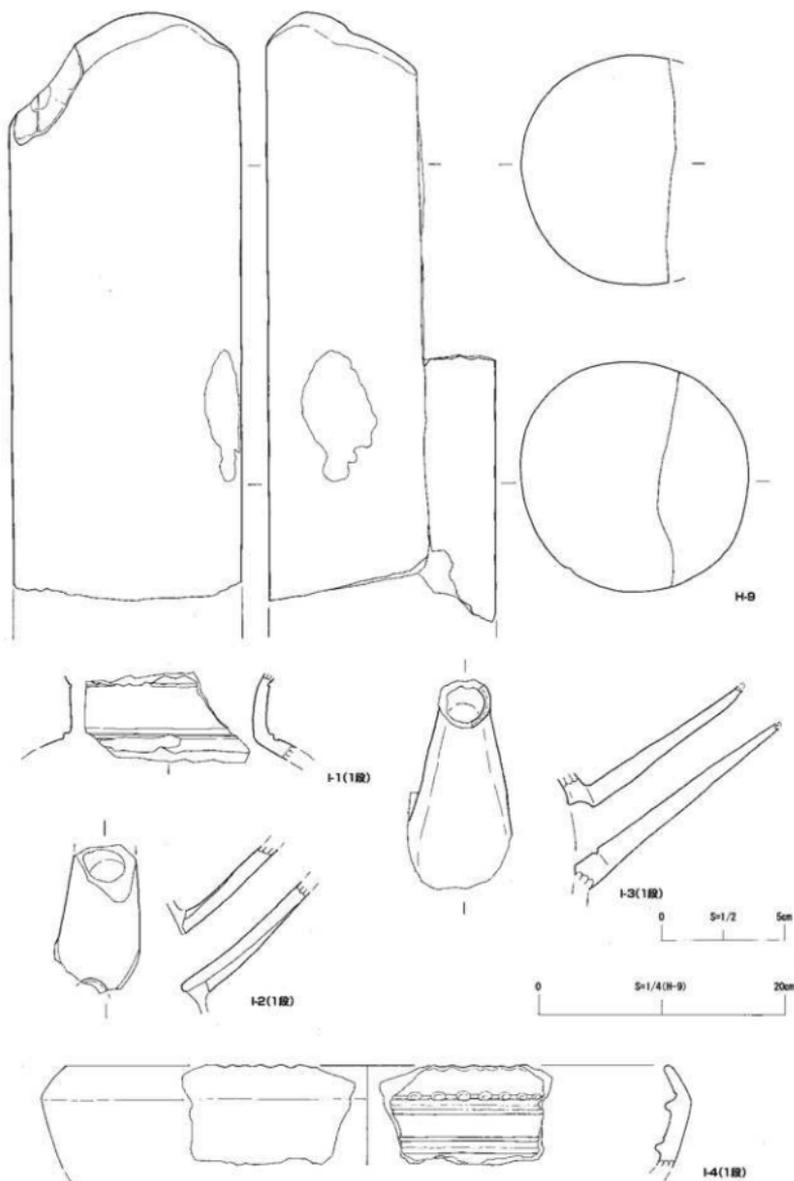
第14図 出土遺物



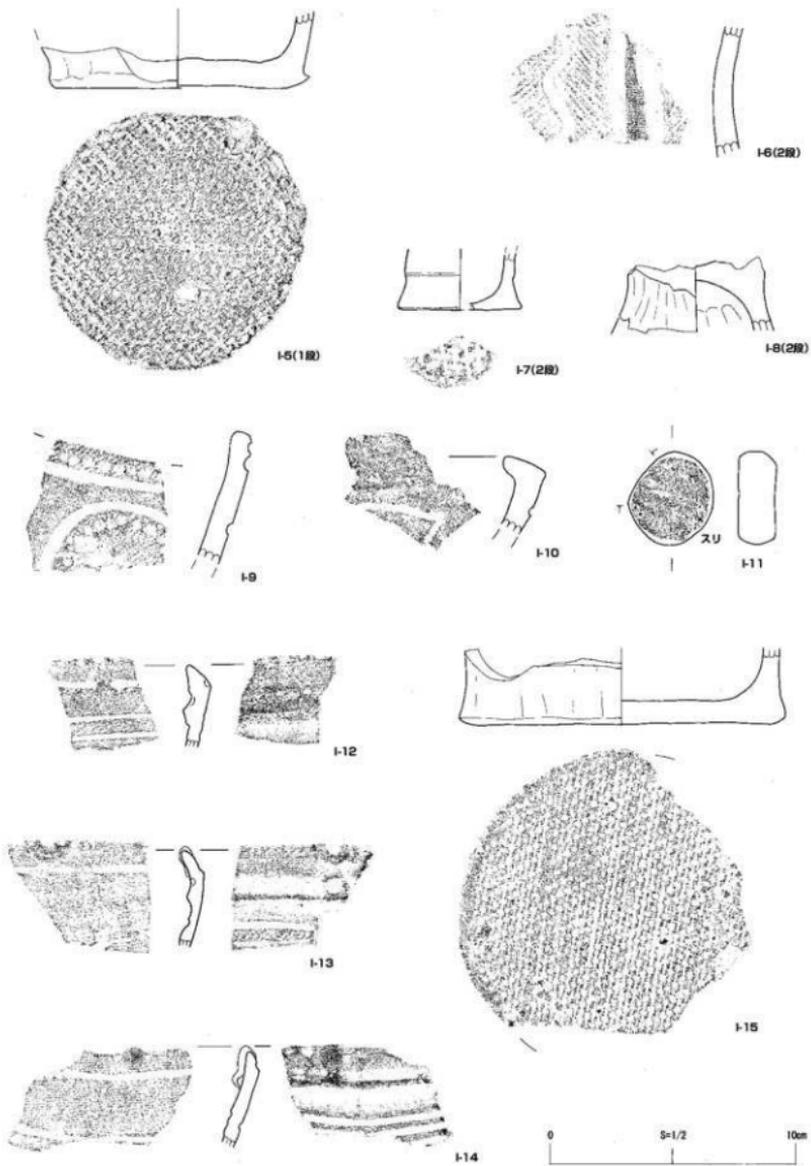
第15図 出土遺物



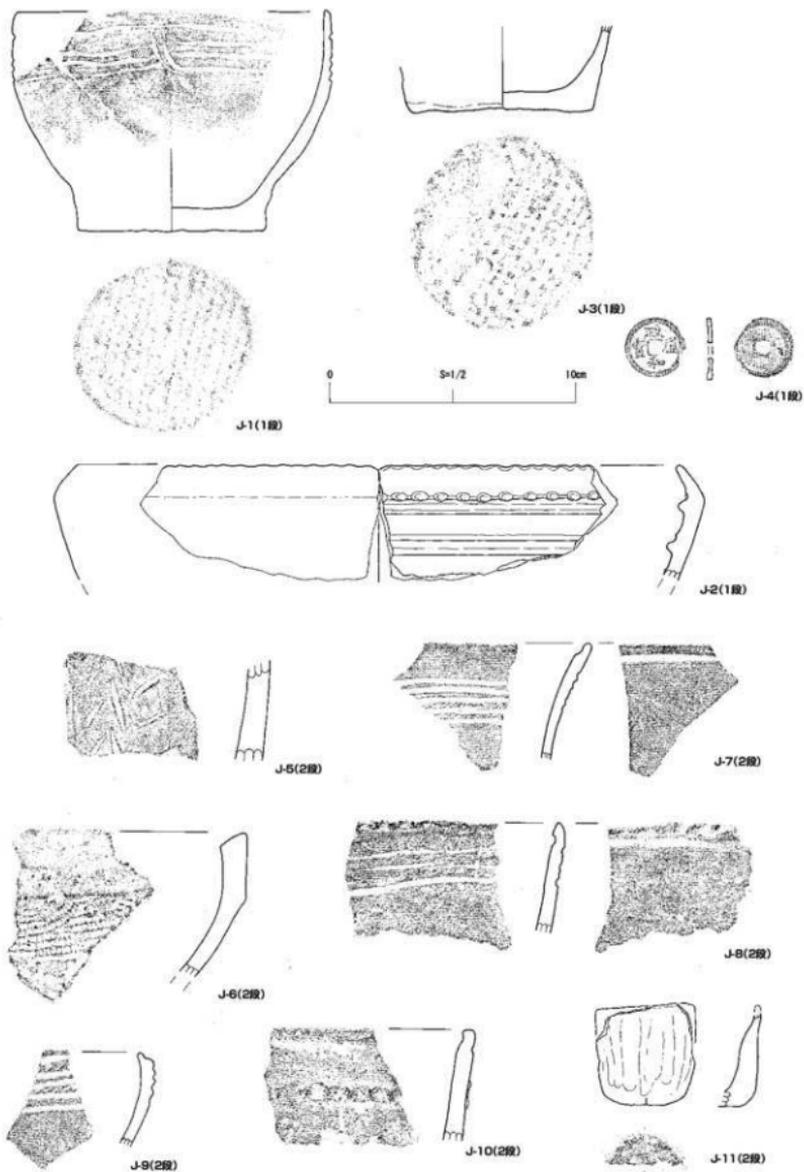
第16図 出土遺物



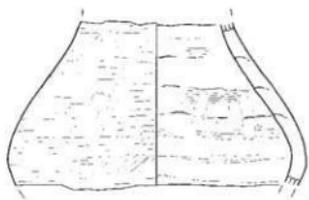
第 17 図 出土遺物



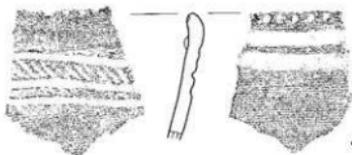
第 18 図 出土遺物



第 19 図 出土遺物



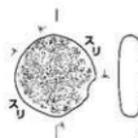
J-12(2段)



J-13



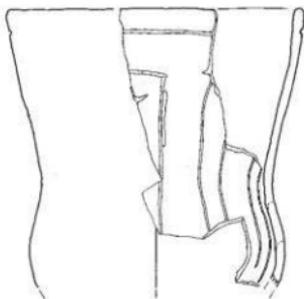
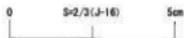
J-14



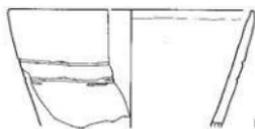
J-15



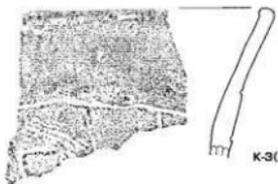
J-16



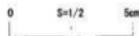
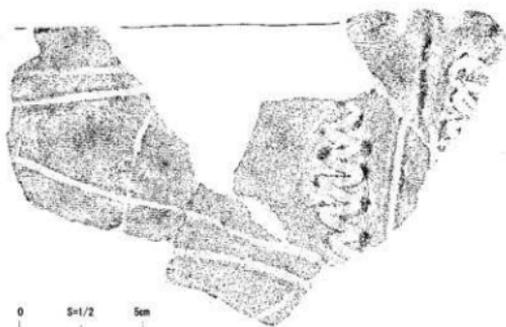
K-1(1段)



K-2(1段)



K-3(1段)

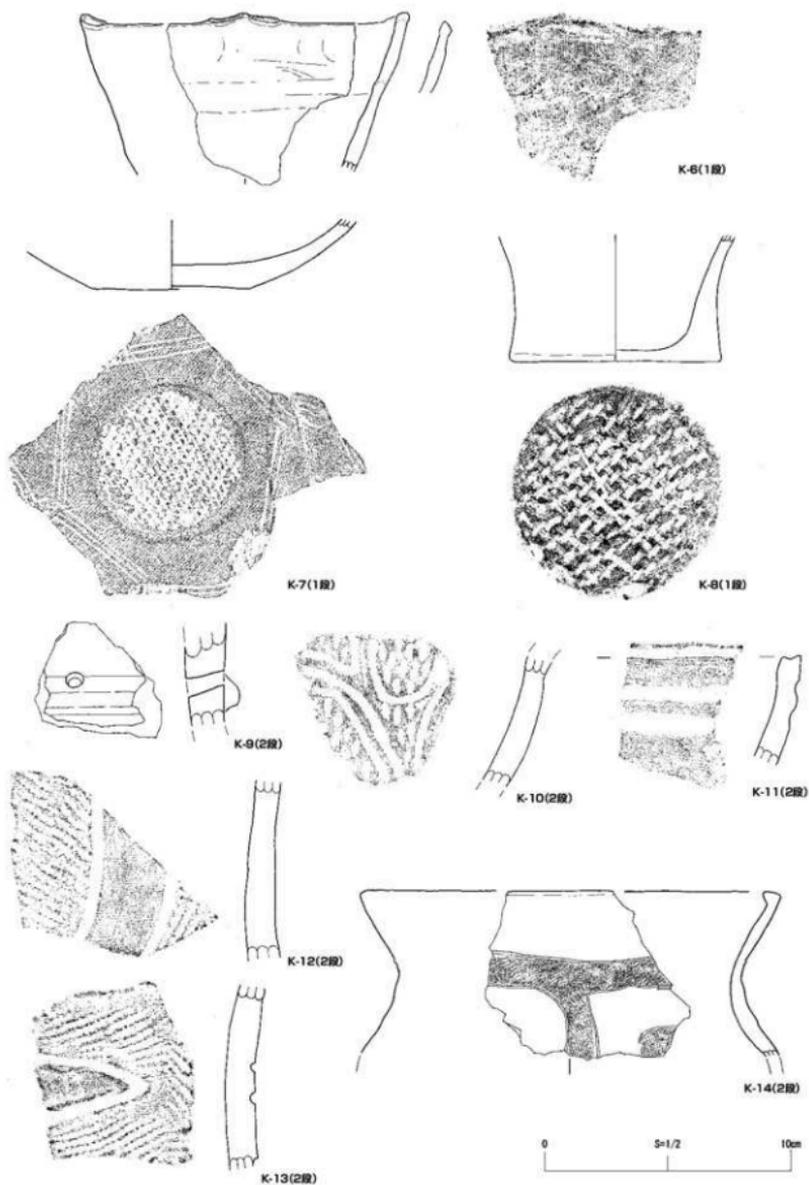


K-4(1段)

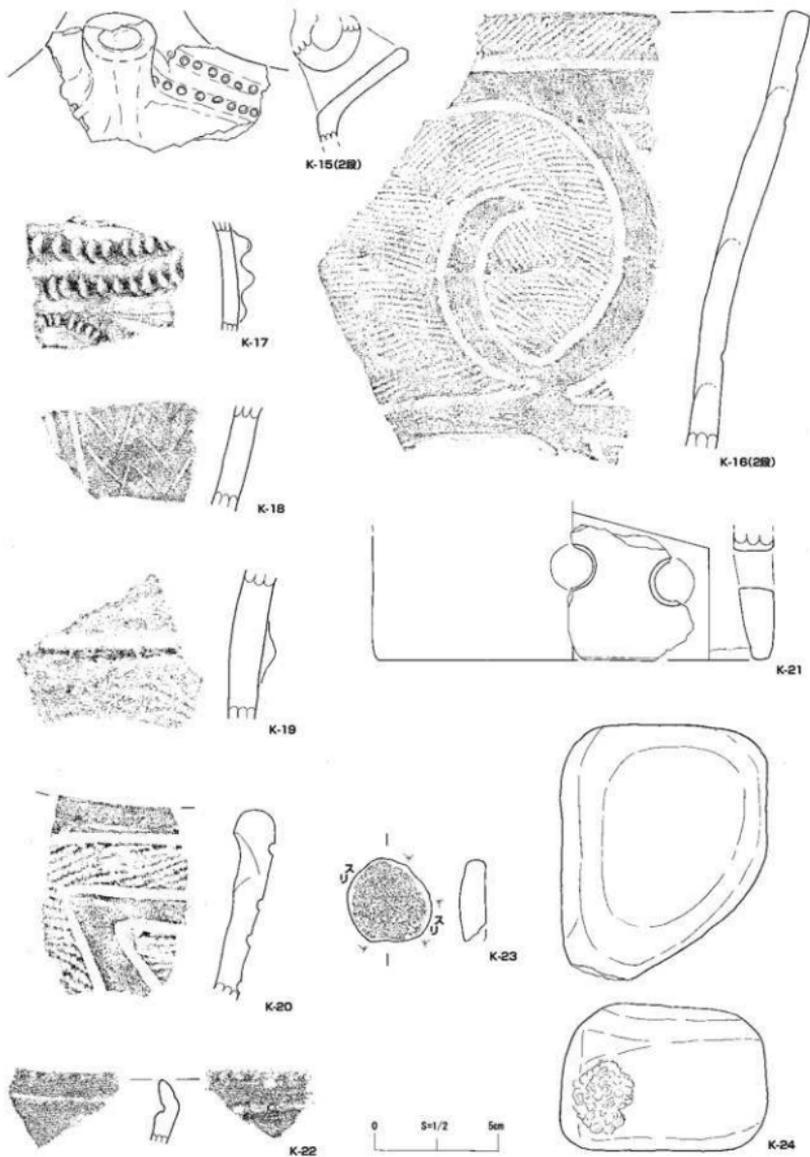


K-5(1段)

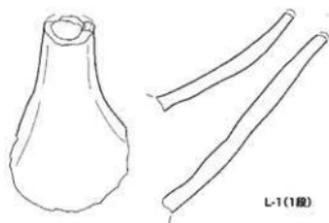
第20図 出土遺物



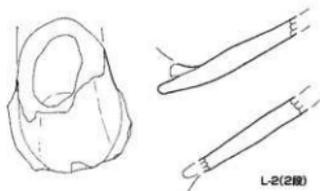
第 21 図 出土遺物



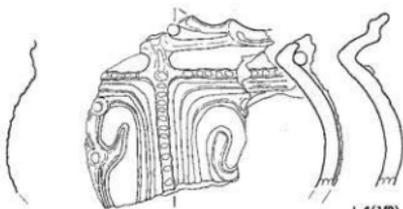
第 22 図 出土遺物



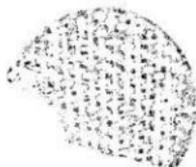
L-1(1段)



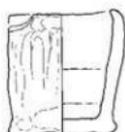
L-2(2段)



L-4(1段)



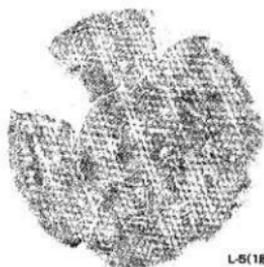
L-3(1段)



L-8



L-7(2段)



L-5(1段)



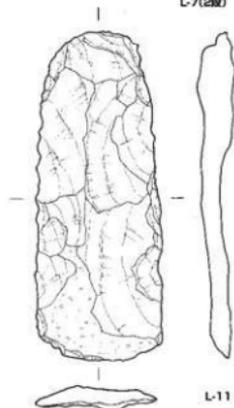
L-9



L-6(1段)



L-10



L-11



第 23 図 出土遺物

写 真 图 版



宿尻遺跡 調査区全景



A1 グリッド 11号土坑 (A1-SD11) 遺物検出状況



1号溝状遺構 (MZ1) 全景



B1 グリッド 1号ピット (B1-PT1) 遺物検出状況



1号溝状遺構 (MZ1) 南壁セクション



B2 グリッド 1号土坑 (B1-SD1) 出土遺物状況



A1 グリッド 7号土坑 (A1-SD7) 遺物検出状況



B2 グリッド 1号土坑 (B1-SD1) 完掘状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 調査状況



B1 グリッド 2 号遺物集中 (B1-1B2) 検出状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 検出状況



B1 グリッド 2 号遺物集中 (B1-1B2) 取上状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 取上状況



B1 グリッド 3 号遺物集中 (B1-1B3) 検出状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 底部検出状況



D2 グリッド 3 号土坑 (D2-S03) 遺物検出状況

写真図版3 (宿尻遺跡)



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 半截状況



C1 グリッド 7号土坑 (C1-S07) 遺物検出状況



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 逆茂木検出状況



C1 グリッド 9号土坑 (C1-S09) 遺物検出状況



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 調査状況



D2 グリッド 3号土坑 (D2-S03) 遺物検出状況



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 完掘状況



B1 グリッド 4号土坑 (B1-S04) 土偶検出状況



榎田遺跡調査状況 (南から撮影)



Hグリッド石棒出土状況



Gグリッド遺物出土状況



1号溝状遺構 (M21) 検出状況



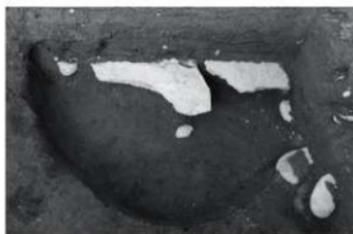
Kグリッド遺物出土状況



Lグリッド 1号住居跡出土状況



Lグリッド遺物出土状況



Lグリッド 1号住居跡完掘状況



宿尻遺跡 調査区全景



A1 グリッド 11号土坑 (A1-SD11) 遺物検出状況



1号溝状遺構 (MZ1) 全景



B1 グリッド 1号ピット (B1-PT1) 遺物検出状況



1号溝状遺構 (MZ1) 南壁セクション



B2 グリッド 1号土坑 (B1-SD1) 出土遺物状況



A1 グリッド 7号土坑 (A1-SD7) 遺物検出状況



B2 グリッド 1号土坑 (B1-SD1) 完掘状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 調査状況



B1 グリッド 2 号遺物集中 (B1-1B2) 検出状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 検出状況



B1 グリッド 2 号遺物集中 (B1-1B2) 取上状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 取上状況



B1 グリッド 3 号遺物集中 (B1-1B3) 検出状況



B1 グリッド 1 号遺物集中 (B1-1B1) 底部検出状況



D2 グリッド 3 号土坑 (D2-S03) 遺物検出状況

写真図版3 (宿尻遺跡)



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 半截状況



C1 グリッド 7号土坑 (C1-S07) 遺物検出状況



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 逆茂木検出状況



C1 グリッド 9号土坑 (C1-S09) 遺物検出状況



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 調査状況



D2 グリッド 3号土坑 (D2-S03) 遺物検出状況



C3 グリッド 1号土坑 (C3-S01) 完掘状況



B1 グリッド 4号土坑 (B1-S04) 土偶検出状況



榎田遺跡調査状況 (南から撮影)



Hグリッド石棒出土状況



Gグリッド遺物出土状況



1号溝状遺構 (M21) 検出状況



Kグリッド遺物出土状況



Lグリッド 1号住居跡出土状況



Lグリッド遺物出土状況



Lグリッド 1号住居跡完掘状況

報告書抄録

ふりがな	れいわ6ねんどにらさきしないはくつちょうさほうこくしょ
書名	令和6年度葦崎市内発掘調査報告書
副書名	宿尻遺跡(穴山町字宿尻4462-5 ほか地点) 榎田遺跡(藤井町北下條字榎田80-1地点)
編著者名	関岡俊明 半澤直史
編集機関	葦崎市教育委員会
住所	〒407-8501 山梨県葦崎市水神1-3-1
市町村コード	19207
発行年月日	令和7年3月31日
ふりがな	しゅくじりいせき
遺跡名	宿尻遺跡
所在地	山梨県葦崎市穴山町字宿尻4462-5ほか
位置	北緯35度45分17.9秒 東経138度24分58.6秒
調査期間	令和3年4月～7月
調査面積	331㎡
調査原因	個人住宅建設
種別	集落跡
主な時代	縄文時代・古墳時代
主な遺構	ピット・土坑・溝状遺構・落とし穴跡
主な遺物	縄文土器・土偶・石器
特記事項	落とし穴跡1基、窓から逆茂木跡5基検出
ふりがな	えのきだいせき
遺跡名	榎田遺跡
所在地	山梨県葦崎市藤井町北下條字榎田80-1
位置	北緯35度43分31.9秒 東経138度26分37.6秒
調査期間	令和3年10月～12月
調査面積	150㎡
調査原因	個人住宅建設
種別	集落跡
主な時代	縄文時代
主な遺構	溝状遺構・敷石住居跡
主な遺物	縄文土器・石棒
特記事項	敷石住居跡1軒検出

令和6年度葦崎市内発掘調査報告書

宿尻遺跡（穴山町字宿尻4462-1 ほか地点）

榎田遺跡（藤井町北下條字榎田80-1地点）

発行日 2025年3月31日

発行 葦崎市教育委員会
〒407-8501
山梨県葦崎市水神一丁目3-1
TEL 0561-22-1111 (代表)

印刷 有限会社 タクト
